

LIXIL スタイルコート 天井 スタイルコート・スタイルコートL 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- アルミ各部材・天井面材は、最大の間口・奥行きサイズに設定されています。各規格サイズまたは現場の状況に従って切断してください。


ポイント

- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書に従ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 天井以外の取付けは、スタイルコート本体に同梱の取付説明書に従ってください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト・ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 照明器具の耐荷重は、奥行き方向1スパンあたり（天井面材2枚あたり）3kgです。天井材が落下するおそれがあります。
 - ・シーリングライトを取付ける際は、天井面材に、かならずコンパネ等を接着剤で裏貼りして補強してから取付けてください。

🔑 ポイント

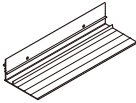
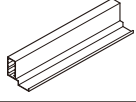
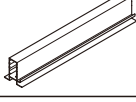
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

INDEX

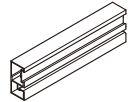
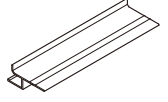
1. 梱包明細表	3
2. 各部名称	4
3. 基本寸法と加工寸法	6
4. 天井面材の加工寸法	12
5. 天井の取付け（シャッター部分）	14
6. 天井の取付け（通常部分）	20
7. 天井面材 通常部分（端部ピッチ）の取付け	38

1. 梱包明細表

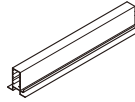
【1】天井端部吊枠

名 称	略 図	員 数
天井桁枠		2
天井梁端部用		2
天井梁中間用		1

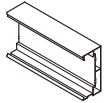
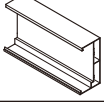
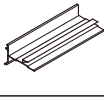
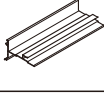
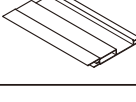
【1】天井端部吊枠（つづき）

名 称	略 図	員 数
天井縦枠		8
天井吊梁		1
天井端部枠		2

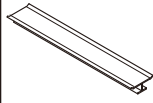
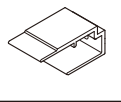
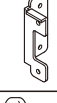
【2】中間枠

名 称	略 図	員 数	
		3本入	4本入
天井梁中間用		3	4

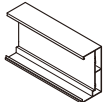
【3】シャッター枠

名 称	略 図	員 数	
		スタイルコート	スタイルコートL
天井端部梁A		—	1
天井端部梁B		1	—
天井桁枠（シャッター部用）		2	—
天井桁枠（シャッター部L用）		—	2
天板調整材		1	2

【3】シャッター枠（つづき）

名 称	略 図	員 数	
		スタイルコート	スタイルコートL
パネルジョイント材		1	5
天井材押さえ金具（シャッター部用）		2	4
中間梁取付金具 右		1	1
中間梁取付金具 左		1	1
【3-1】φ5×19ナベドリルネジ		9	9
【3-2】φ4×19ナベドリルネジ		10	10
取付説明書〈D467〉	—	1	1

【4】採光梁枠

名 称	略 図	員 数	
		スタイルコート	スタイルコートL
天井端部梁B		2	—

1. (つづき)

【5】天井部品

名 称	略 図	員 数			
		スタイル コート	スタイル コートL	3本入	4本入
天井梁取付金具 右		3	3	3	4
天井梁取付金具 左		3	3	3	4
天井材押さえ金具		12	12	12	16
天井梁連結金具		3	3	3	4
内装用枠材固定金具		2	2	—	—

【5】天井部品 (つづき)

名 称	略 図	員 数			
		スタイル コート	スタイル コートL	3本入	4本入
中間梁取付金具 右		1	—	—	—
中間梁取付金具 左		1	—	—	—
【5-1】φ5×19 ナベドリルネジ		9	9	—	—
【5-2】φ4×13 ナベドリルネジ		35	35	44	44
【5-3】φ4×12 トラスタッピンネジ3種		14	14	—	—
【5-4】φ5×25 ナベドリルネジ		11	11	—	—

【6】天井面材

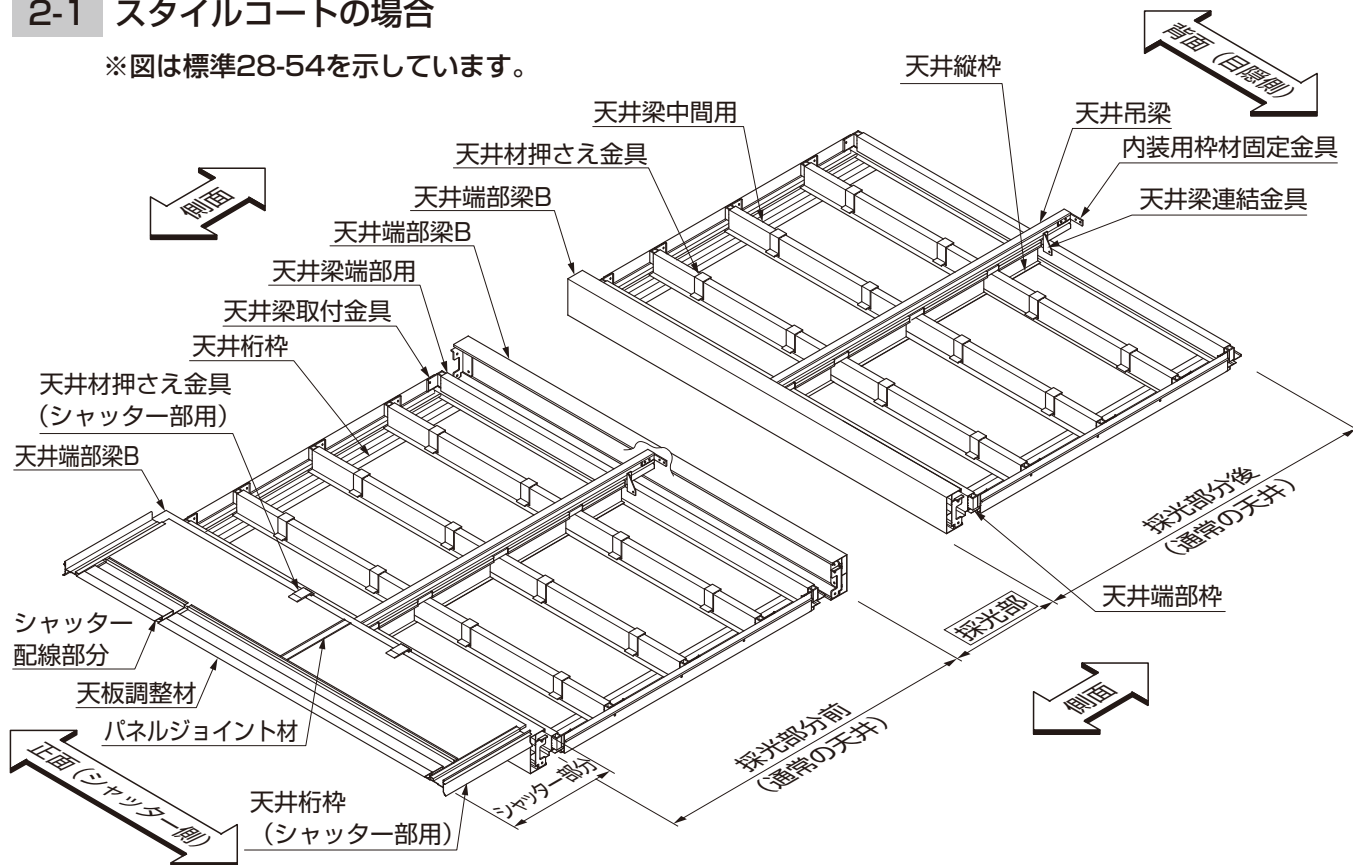
名 称	略 図	員 数
天井面材 (t6.0×420×1820) (※1)		2

(※1) 天井面材のW38タイプの最大必要寸法は、L=1755
ですが、輸送中等に角部が破損するおそれの対応として、
L=1820に設定しています。

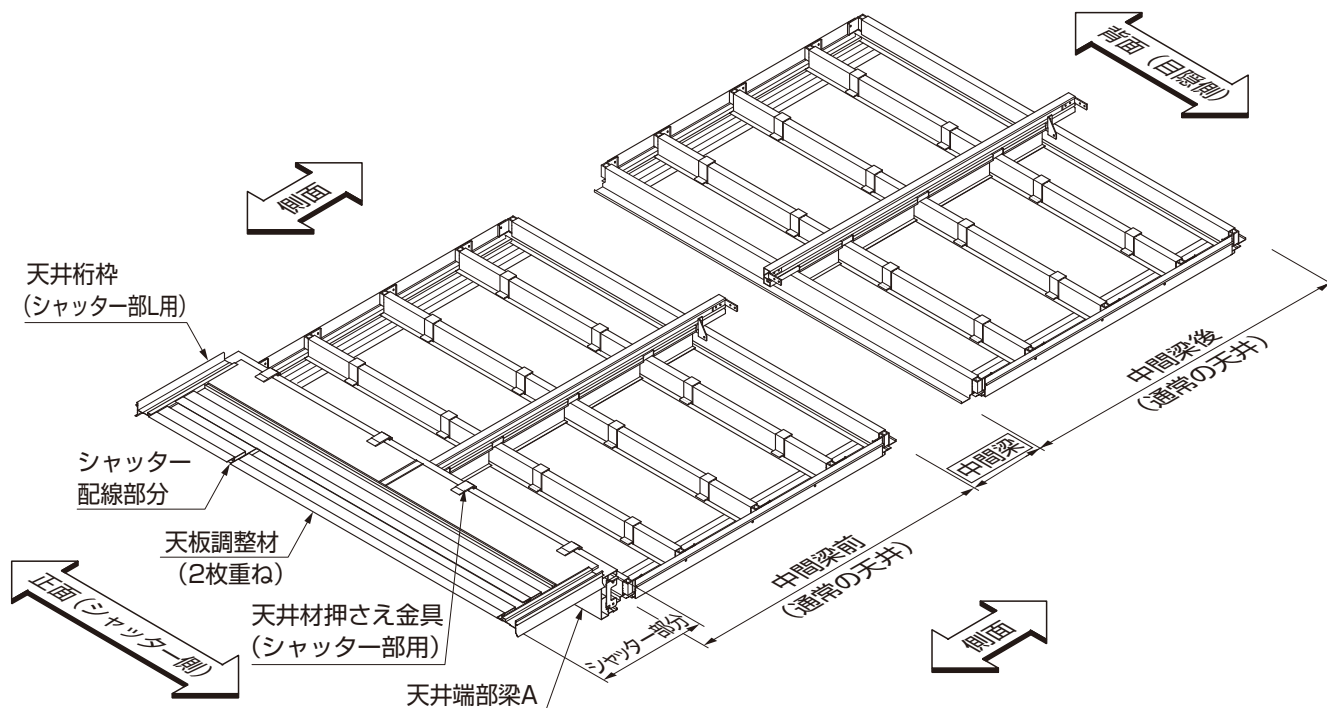
2. 各部名称

2-1 スタイルコートの場合

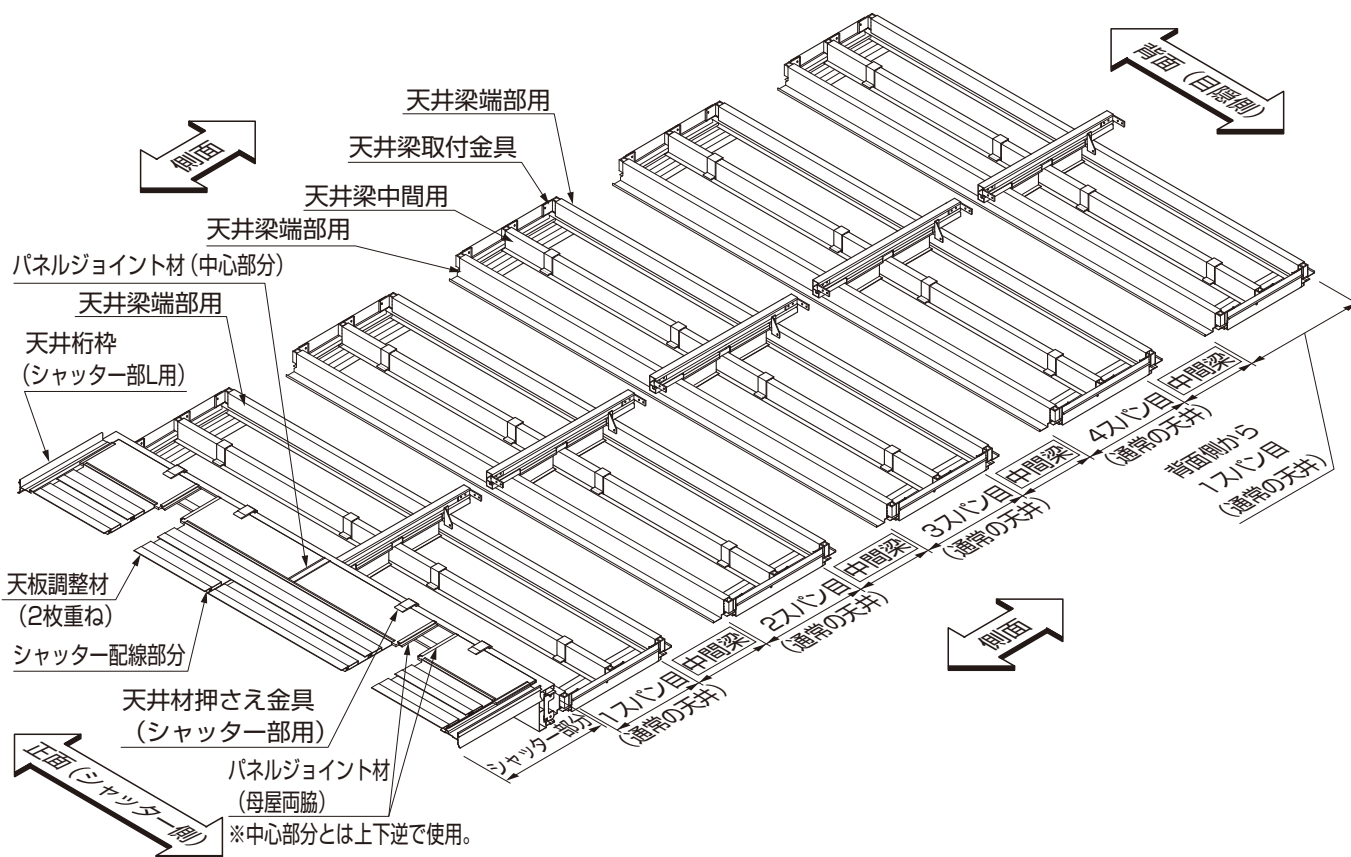
※図は標準28-54を示しています。



2-2 スタイルコートLの場合 ※1500タイプの場合
3000タイプ標準28-54・32-60、縦延長32-74の場合
 ※図は標準28-54を示しています。



2-2 スタイルコートL3000タイプの場合 ※標準28-54・32-60、縦延長32-74の場合
 ※図は標準34-60を示しています。



3. 基本寸法と加工寸法 ※図は右勝手の場合を示します。

3-1 スタイルコートの場合

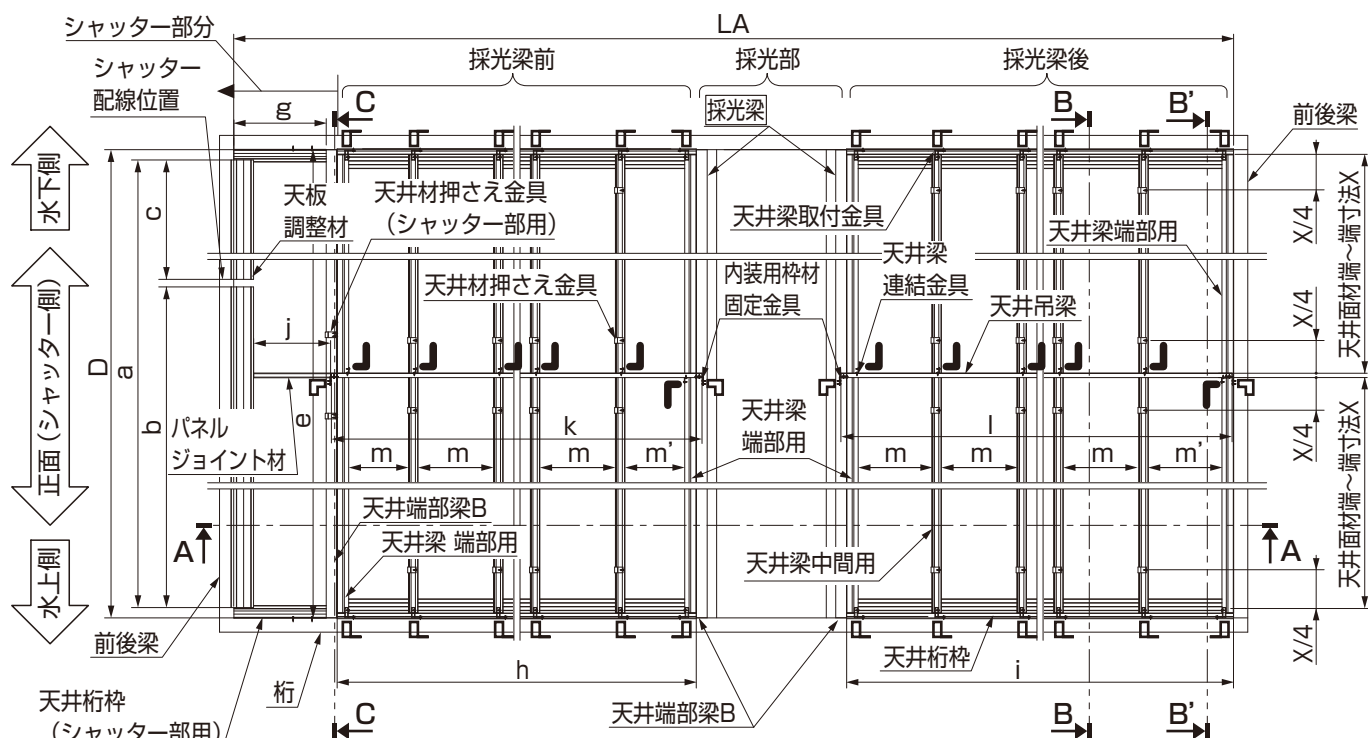


图3-1 上面图

※は、天井梁連結金具の取付け方向を示します。 ※は、天井梁取付金具の取付け方向を示します。

※は、内装用柵材固定金具の取付け方向を示します。

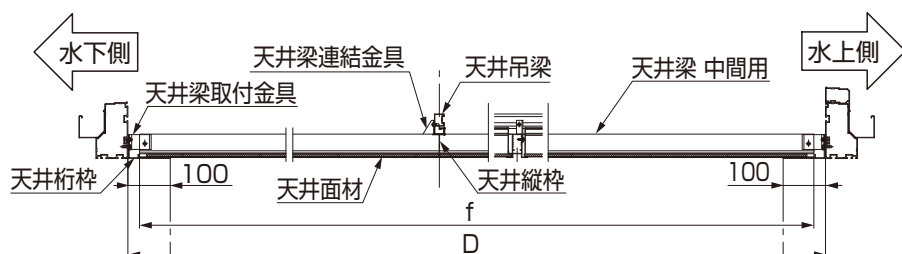
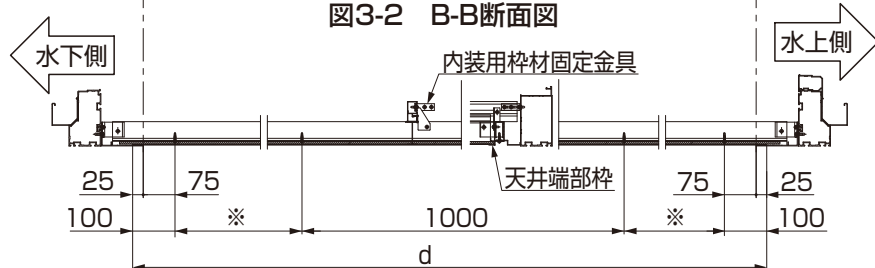


图3-2 B-B断面图



※は、 $\{n - \{1000 - (100 \times 2)\}\} \div 2$ を示します。

图3-3 B'-B' 断面图

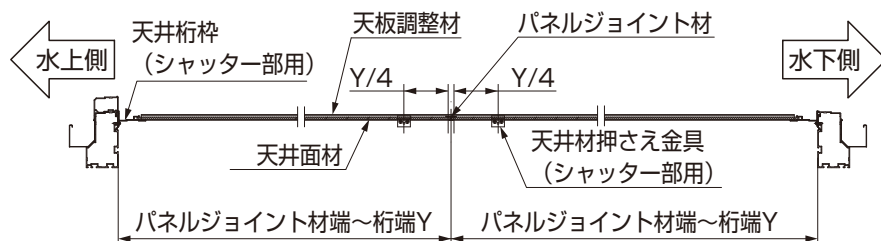


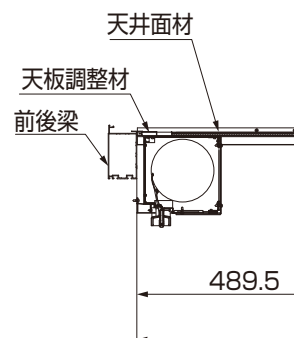
図3-4 C-C断面図(シャッター部分)

表3-1 A-A断面对应表

	L54	L60	L74
LA	5200	5800	7200
A	278×2	256	303×2
B	402.5	402.5	276.5×2
L1	900	1800	2250
L2	1800		2250
N1	2	4	5
N2	4		5

表3-2

	W28	W32	W34	W38
D	2600	3000	3200	3600



加工寸法表

①加工寸法表を参照して、各部材を切断してください。

ポイント

- 各部材の加工・納まり寸法詳細は各部材の取付けを参照してください。
- 天井桁樫・天井吊梁・天井縦樫は参考寸法です。実際は現場寸法に合わせて切断してください。
- 天井端部樫の加工は、「6-7 天井端部樫の取付け」を参照してください。

天板調整材 (a) (b) (c)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数)		
			a (1本)	b (1本)	c (1本)
	3490	W28	2490	2000	451
		W32	2890	2200	651
		W63			
		W34	3090	2300	751
		W38	3490	2500	951

天井端部梁B (e)

略 図	部材寸法	サイズ呼称	必要寸法 (必要本数)
	3599	W28	2599 (3本)
		W32	2999 (3本)
		W63	
		W34	3199 (3本)
		W38	3599 (3本)

天井端部樫 (d)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数)
	3450	W28	2450 (4本)
		W32	2850 (4本)
		W63	
		W34	3050 (4本)
		W38	3450 (4本) (切断なし)

天井梁 端部用、中間用 (f)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法	サイズ 呼称	必要本数		
					採光部 前 中間用	採光部 後 中間用	端部用
 端部用	3545	W28	2545	L54 L60 L74	3本	4本	4本
 中間用		W32	2945		4本	4本	4本
		W63			4本	4本	4本
		W34	3145		6本	6本	4本
		W38	3545 (切断なし)				

天井桁樫 (シャッター部用) (g)

略 図	部材寸法	必要寸法 (必要本数)
	488	488 (2本) (切断なし)

天井吊梁 (k) (l)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数) 参考	
			k (1本)	l (1本)
	3722	L54	1616	2324.7
		L60	2216	
		L74	3016	2924.7

天井桁樫 (h) (i)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数) 参考	
			h (2本)	i (2本)
	3699	L54	1555	2301.7
		L60	2155	
		L74	2955	2901.7

天井縦樫 (m)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数) 参考			
			採光部前		採光部後	
	410	L54	m (切断なし)	m'	410 (4本)	360.5 (1本)
		L60	410 (2本)	236 (2本)		
		L74	410 (4本)	214 (1本)	410 (5本)	234.5 (2本)

パネルジョイント材 (j)

略 図	部材寸法	必要寸法 (必要本数)
	408	408 (1本) (切断なし)

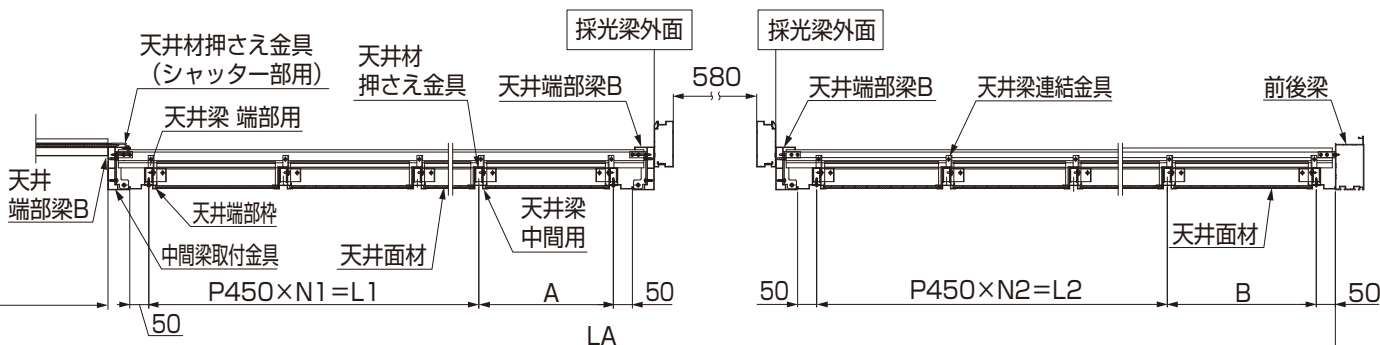


図3-5 A-A断面図

3. (つづき) ※図は右勝手の場合を示します。

3-2 スタイルコートLの場合 ※1500タイプ全タイプ 3000タイプ標準28-54・32-60、縦延長32-74の場合

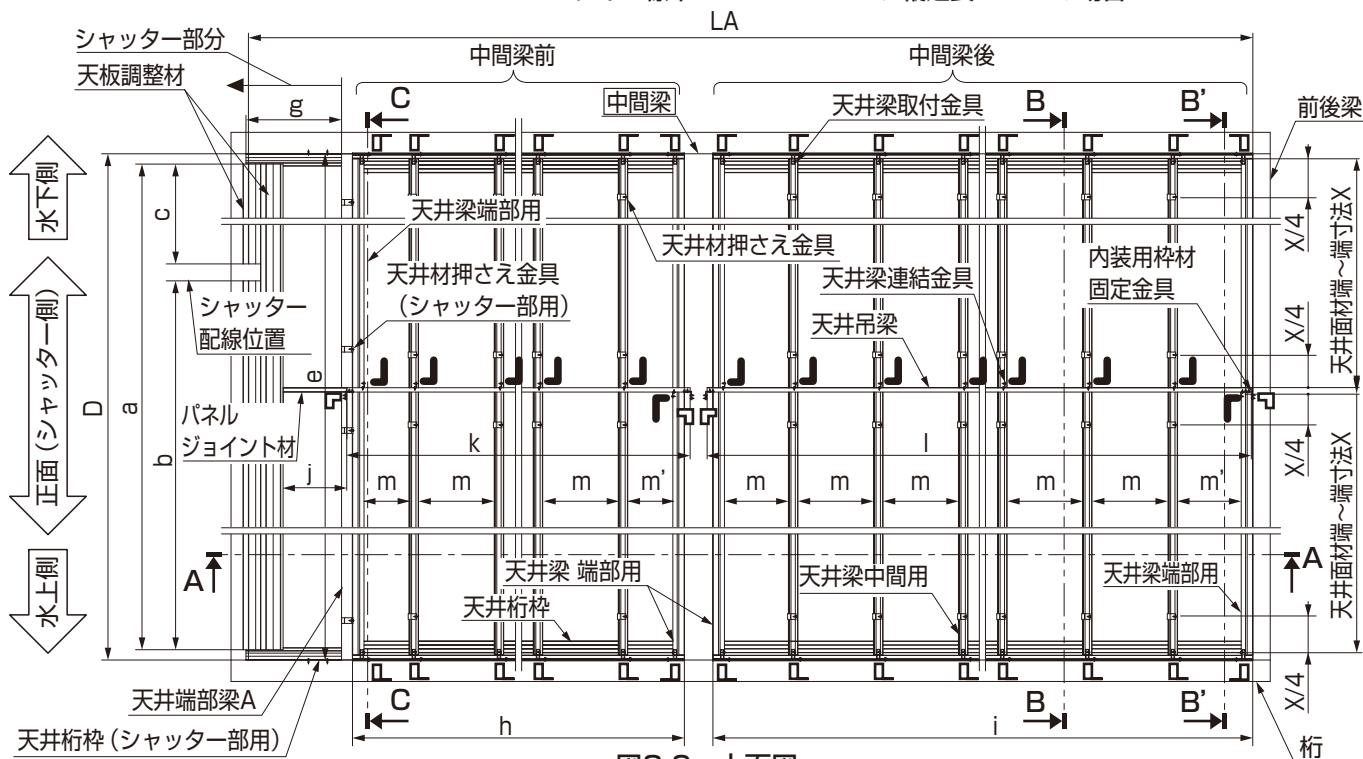


図3-6 上面図

※**J** は、天井梁連結金具の取付け方向を示します。 ※**L** は、天井梁取付金具の取付け方向を示します。

※**P** は、内装用枠材固定金具の取付け方向を示します。

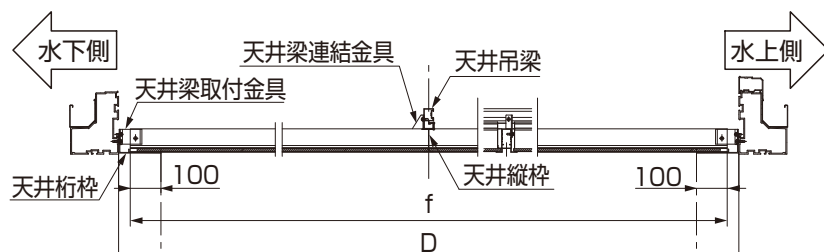
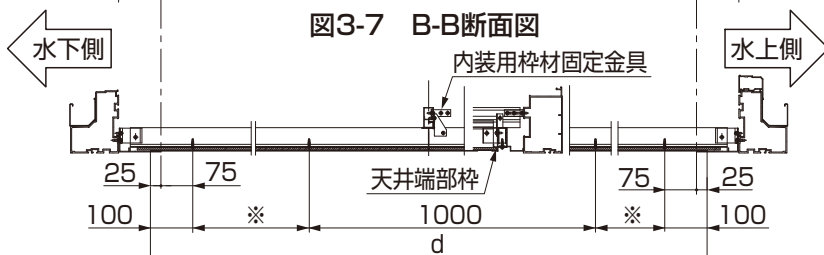


図3-7 B-B断面図



※は、 $\{n - \{1000 - (100 \times 2)\} \div 2\}$ を示します。

図3-8 B'-B'断面図

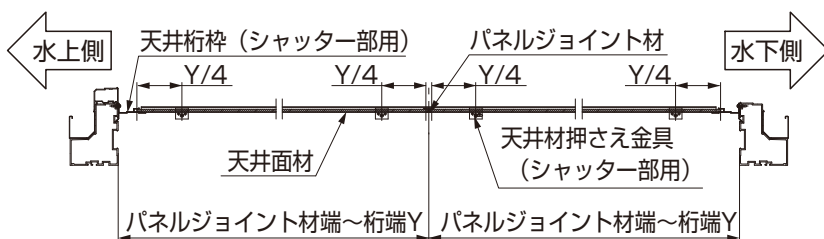


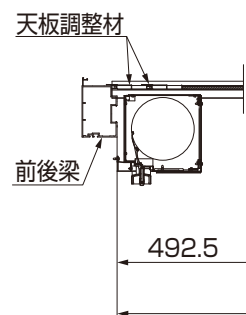
図3-9 C-C断面図 (シャッター部分)

表3-3 A-A断面对応表

	L54	L60	L74
LA	5200	5800	7200
A	275×2	275×2	450
B	300×2	300×1	450
L1	1350	2250	
L2	1800	2700	3150
N1	3	5	
N2	4	6	7

表3-4

	W28	W32	W34	W38
D	2600	3000	3200	3600



加工寸法表

①加工寸法表を参照して、各部材を切断してください。

ポイント

- 各部材の加工・納まり寸法詳細は各部材の取付けを参照してください。
- 天井桁樫・天井吊梁・天井縦樫は参考寸法です。実際は現場寸法に合わせて切断してください。
- 天井端部樫の加工は、「6-7 天井端部樫の取付け」を参照してください。

天板調整材 (a) (b) (c)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数)		
			a (1本)	b (1本)	c (1本)
	3490	W28	2490	2000	451
		W32	2890	2200	651
		W63			
		W34			
		W38	3090	2300	751
			3490	2500	951

天井端部梁A (e)

略 図	部材寸法	サイズ呼称	必要寸法 (必要本数)
	3599	W28	2599 (1本)
		W32	2999 (1本)
		W63	
		W34	3199 (1本)
		W38	3599 (1本)

天井端部樫 (d)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数)
	3450	W28	2450 (4本)
		W32	2850 (4本)
		W63	
		W34	3050 (4本)
		W38	3450 (4本) (切断なし)

天井梁 端部用、中間用 (f)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法	サイズ 呼称	必要本数		
					中間梁 前 中間用	中間梁 後 中間用	端部用
 端部用	3545	W28	2545	L54 L60 L74	4本 4本 5本	5本 6本 7本	4本 4本 4本
		W32	2945				
		W63					
		W34	3145				
		W38	3545 (切断なし)				
 中間用							

天井桁樫 (シャッター部L用) (g)

略 図	部材寸法	必要寸法 (必要本数)
	506	506 (2本) (切断なし)

天井吊梁 (k) (l)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数) 参考	
			k (1本)	l (1本)
	3722	L54	2060	2522
		L60		3122
		L74	2860	3722

天井桁樫 (h) (i)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数) 参考	
			h (2本)	i (2本)
	3699	L54	1999	2499
		L60		3099
		L74	2799	3699 (切断なし)

天井縦樫 (m)

略 図	部材寸法	サイズ 呼称	必要寸法 (必要本数) 参考			
			中間梁前		中間梁後	
	410	L54	410 (3本)	233 (2本)	410 (4本)	258 (2本)
		L60			410 (6本)	258 (1本)
		L74	410 (5本)	410 (1本) (切断なし)	410 (7本)	410 (1本) (切断なし)

パネルジョイント材 (j)

略 図	部材寸法	必要寸法 (必要本数)
	408	337 (1本)

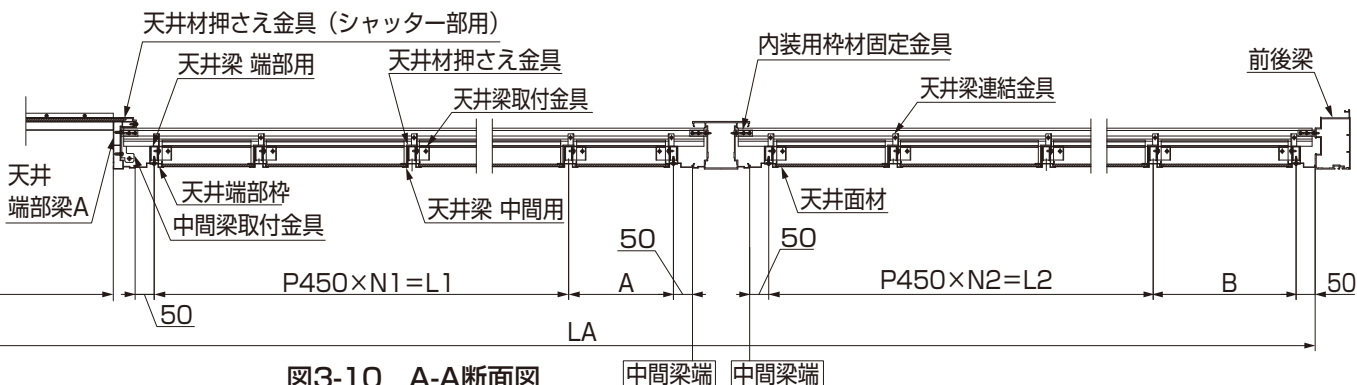


図3-10 A-A断面図

3. (つづき) ※図は右勝手の場合を示します。

3-3 スタイルコートL 3000タイプの場合 ※標準 34-60・38-60の場合

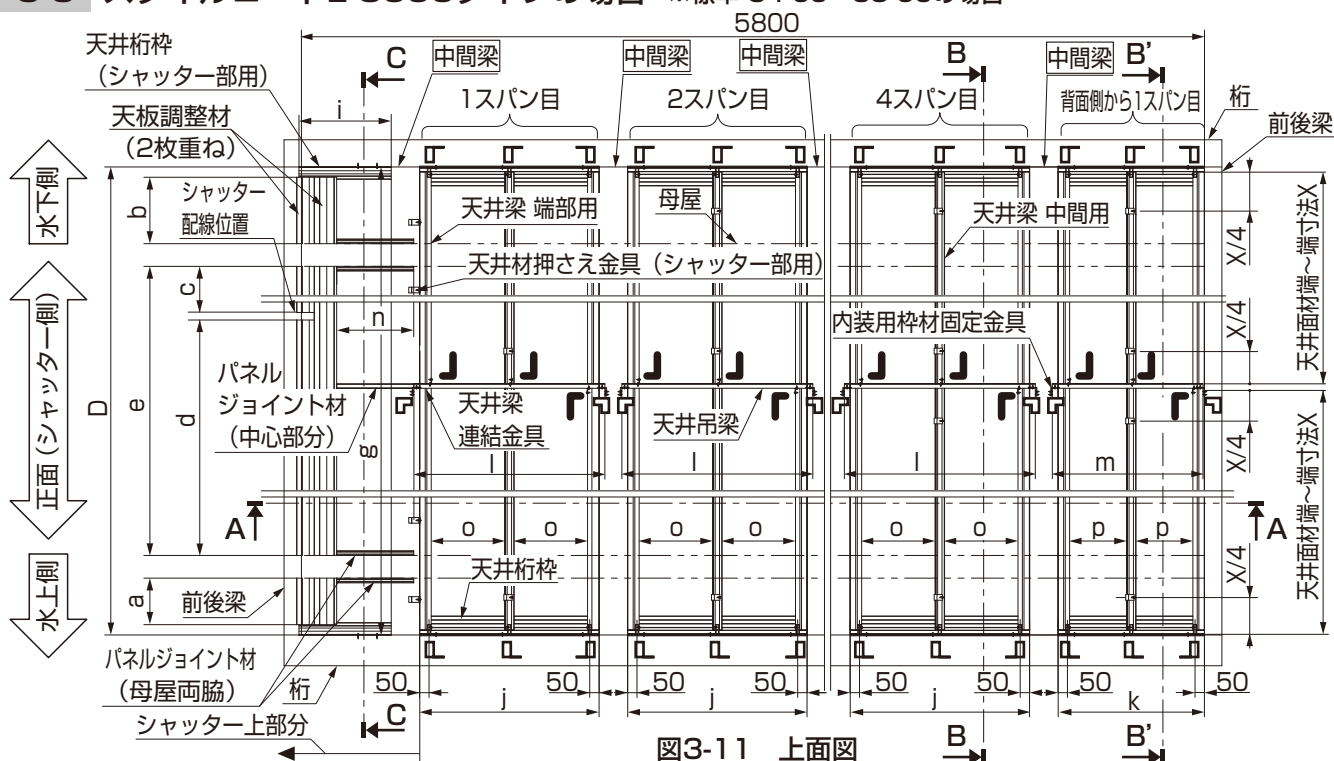


図3-11 上面図

※ **J** は、天井梁連結金具の取付け方向を示します。 ※ **L** は、天井梁取付金具の取付け方向を示します。

※ **F** は、内装用枠材固定金具の取付け方向を示します。

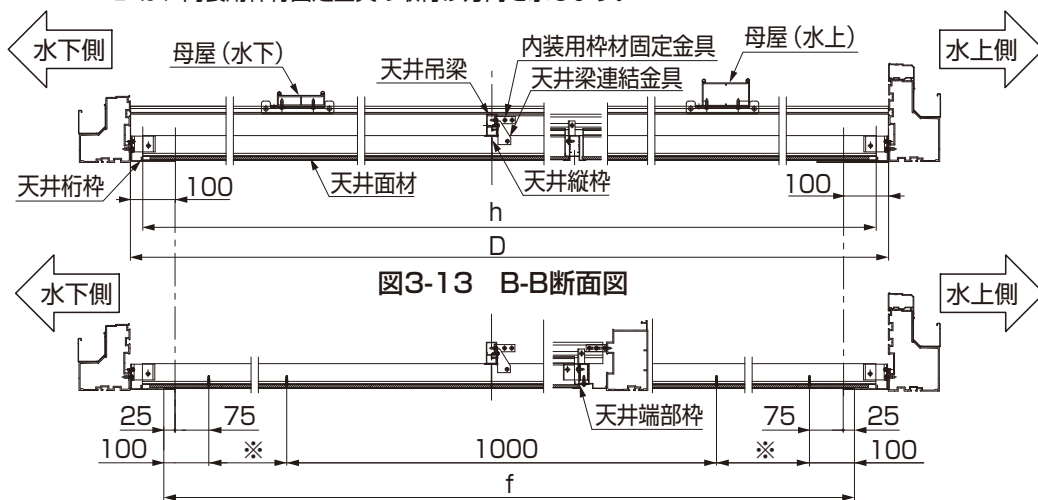


図3-13 B-B断面図

※は、 $\{n - \{1000 - (100 \times 2)\}\} \div 2$ を示します。

図3-14 B'-B'断面図

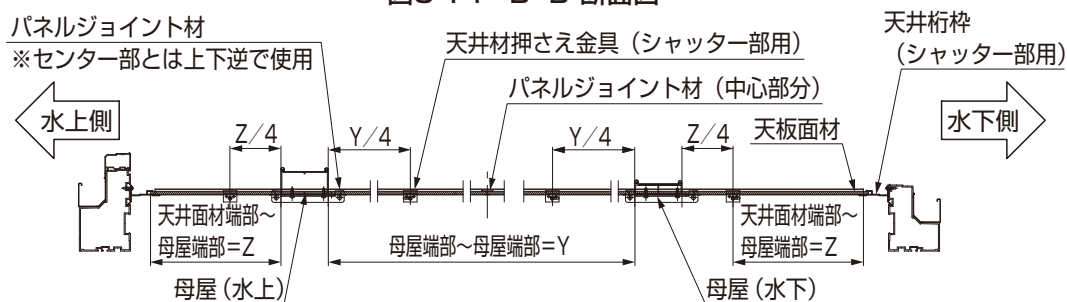
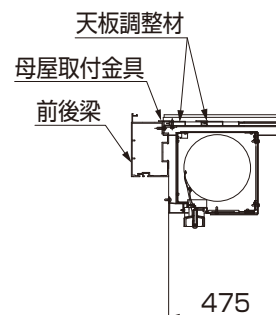


図3-12 C-C断面図 (シャッター部分)

表3-5

	D
W34	3200
W38	3600



加工寸法表

①加工寸法表を参照して、各部材を切断してください。

ポイント

- 各部材の加工・納まり寸法詳細は各部材の取付けを参照してください。
- 天井桁枠・天井吊梁・天井縦枠は参考寸法です。実際は現場寸法に合わせて切断してください。
- 天井端部枠の加工は、「6-7 天井端部枠の取付け」を参照してください。

天板調整材 (a) (b) (c) (d) (e)

略 図	部材寸法	サイズ呼称		必要寸法 (必要本数)				
				a	b	c	d	e
	3490	標準	W34	283 (2本)	388 (2本)	243 (1本)	1897 (1本)	2180 (1本)
			W38	333 (2本)	438 (2本)	393 (1本)	2047 (1本)	2480 (1本)

天井端部枠 (f)

略 図	部材寸法	サイズ呼称	必要寸法 (必要本数)
	3450	標準	W34 3050 (10本)
			W38 3450 (切断なし) (10本)

天井桁枠 (シャッター部L用) (i)

略 図	部材寸法	必要寸法 (必要本数)
	506	488 (2本)

天井桁枠 (j) (k)

略 図	部材寸法	サイズ呼称		必要寸法 (必要本数) 参考	
				j	k
	3699	標準	L60	949 (8本)	774 (2本)

天井吊梁 (l) (m)

略 図	部材寸法	サイズ呼称		必要寸法 (必要本数) 参考	
				l	m
	3722	標準	L60	1010 (4本)	797.5 (1本)

天井端部梁A (g)

略 図	部材寸法	サイズ呼称	必要寸法 (必要本数)
	3599	標準	W34 3199 (1本)
			W38 3599 (1本)

天井梁 端部用、中間用 (h)

略 図	部材寸法	サイズ呼称	必要寸法 (必要本数)
	3545	標準	W34 3145
			W38 3545 (切断なし)

※天井梁 端部用は、各スパン2本
天井梁 中間用は各スパン1本必要になります。

パネルジョイント材 (n)

略 図	部材寸法	必要寸法 (必要本数)	
		中心部分	母屋両脇
	408	408 (切断なし)	(5本)

天井縦枠 (o) (p)

略 図	部材寸法	サイズ呼称		必要寸法 (必要本数) 参考	
				o	p
	410	標準	L60	383 (8本)	295.5 (2本)

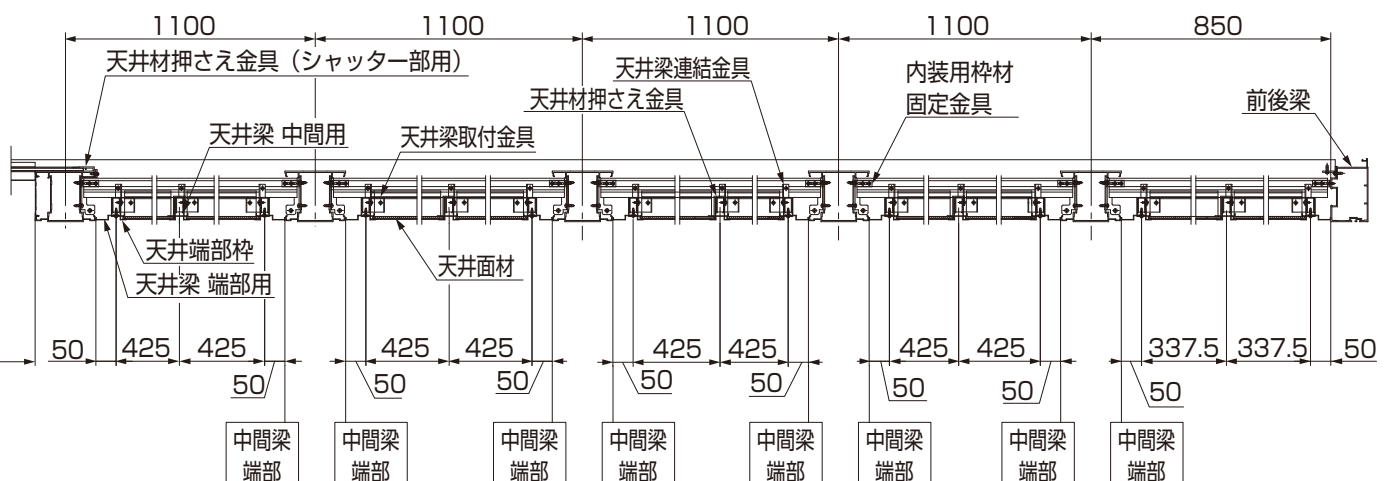
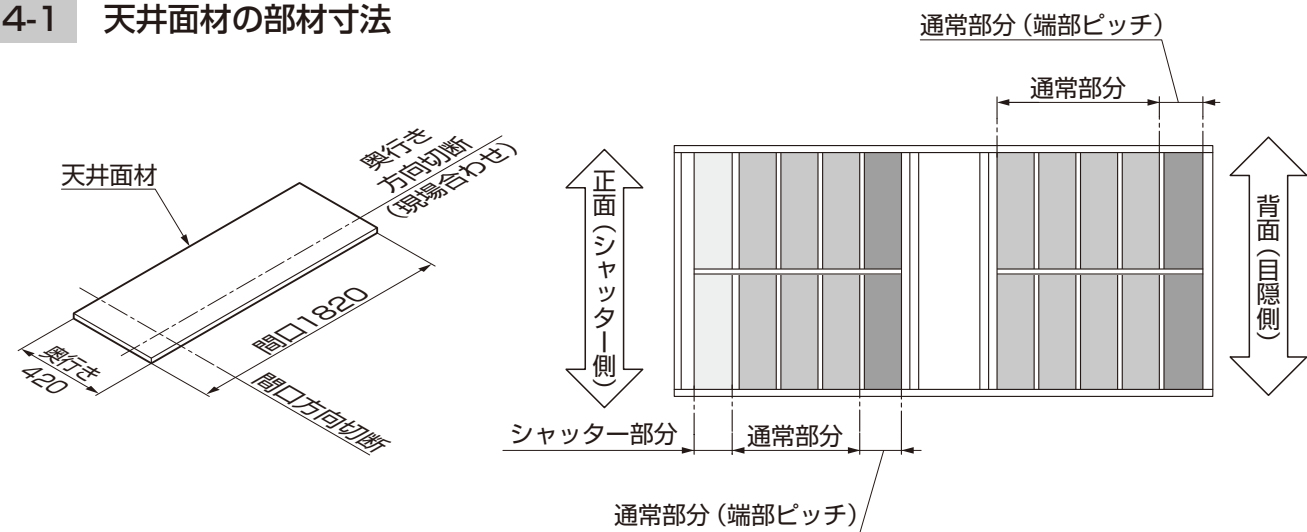


図3-15 A-A断面図

4. 天井面材の加工寸法

4-1 天井面材の部材寸法



①天井面材加工箇所を確認してください。

ポイント

- 通常部分 (端部ピッチ) の天井面材の加工は「7. 天井面材 通常部分 (端部ピッチ) の取付け」を参照して加工してください。
- 天井面材の奥行き方向の切断は現場寸法に合わせて切断してください。

4-2 スタイルコートの場合

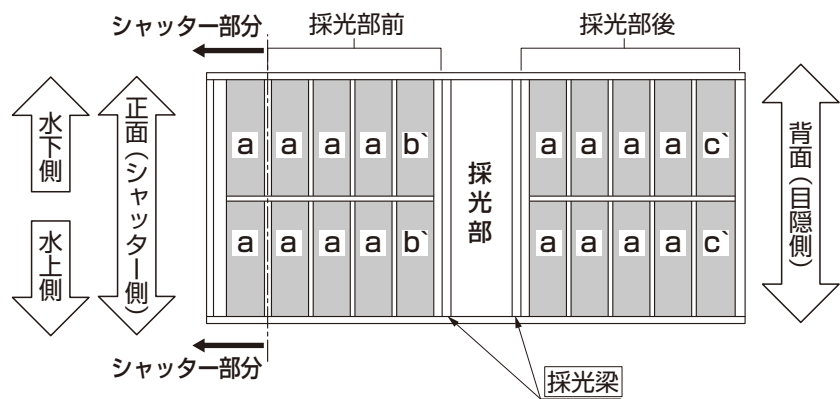


表4-1 天井面材の加工寸法 ※表に記載されている奥行き寸法は参考寸法です。実際は、現場寸法に合わせて切断してください。

部材寸法 奥行き×間口	サイズ 呼称	必要寸法 (必要枚数)					
		シャッター 部分(a) (2枚)	採光部前		採光部後		
			中間部(a)	端部(b')参考	中間部(a)	端部(c')参考	
420×1820	28-54	420×1255	420×1255 (4枚)	250×1255 (4枚)	420×1255 (8枚)	374.5×1255 (2枚)	
	32-60	420×1455	(8枚)	228×1455 (2枚)	(8枚)	374.5×1455 (2枚)	
	32-74		(10枚)	275×1455 (4枚)	420×1455 (10枚)	248.5×1455 (4枚)	
	34-60	420×1555	420×1555 (8枚)	228×1555 (2枚)	420×1555 (8枚)	374.5×1555 (2枚)	
	38-60	420×1755	420×1755 (8枚)	228×1755 (2枚)	420×1755 (8枚)	374.5×1755 (2枚)	
	63-60	420×1455	(16枚)	228×1455 (4枚)	(16枚)	374.5×1455 (4枚)	
	63-74		(20枚)	275×1455 (8枚)	420×1455 (20枚)	248.5×1455 (8枚)	

①天井面材を必要寸法に切断してください。(表4-1参照)

4-3 スタイルコートLの場合 ※1500タイプの全タイプ、 3000タイプ標準28-54・32-60、縦延長32-74

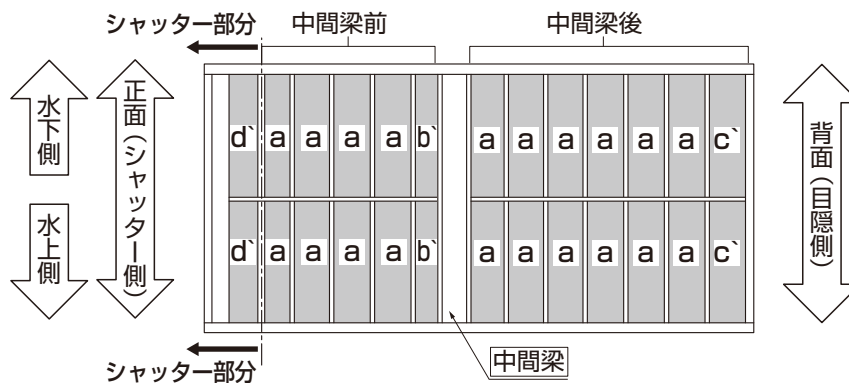


表4-2 天井面材の加工寸法 ※表に記載されている奥行き寸法は参考寸法です。実際は、現場寸法に合わせて切断してください。

部材寸法 奥行き×間口	サイズ 呼称	必要寸法 (必要枚数)							
		シャッター 部分(d') (2枚)	中間梁前				中間梁後ろ		
			中間部(a)	端部(b') 参考			中間部(a)	端部(c') 参考	
420×1820	28-54	350×1255	420×1255 (6枚)	247×1255 (4枚)			420×1255 (8枚)	272×1255 (4枚)	
	32-60	350×1455	420×1455 (6枚)	247×1455 (4枚)			420×1455 (12枚)	272×1455 (2枚)	
	32-74		420×1455 (12枚)	—	—		420×1455 (16枚)	—	—
	34-60	350×1555	420×1555 (6枚)	247×1555 (4枚)			420×1555 (12枚)	272×1555 (2枚)	
	38-60	350×1755	420×1755 (6枚)	247×1755 (4枚)			420×1755 (12枚)	272×1755 (2枚)	
	63-60	350×1455	420×1755 (12枚)	247×1455 (8枚)			420×1755 (24枚)	272×1455 (4枚)	
	63-74		420×1455 (24枚)	—	—		420×1455 (32枚)	—	—

①天井面材を必要寸法に切断してください。(表4-2参照)

4-4 スタイルコートLの場合 ※3000タイプの標準34-60・38-60の場合

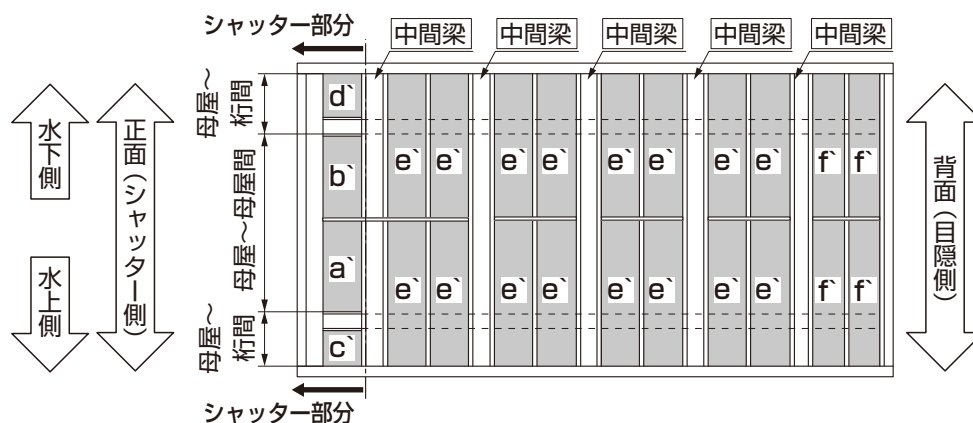


表4-3 天井面材の加工寸法 ※表に記載されている奥行き寸法は参考寸法です。実際は、現場寸法に合わせて切断してください。

部材寸法 奥行き×間口	サイズ 呼称	必要寸法 (必要枚数)					
		シャッター部分				通常部分	
		母屋～母屋間		母屋～桁間		中間梁～ 中間梁(e')	中間梁～前後梁 (背面側)(f')
420×1820	34-60	水上側(a') (1枚) 参考	水下側(b') (1枚) 参考	水上側(c') (1枚) 参考	水下側(d') (1枚) 参考	397×1555	309×1555
	38-60	420×1129	420×1024	420×280	420×385	397×1755	309×1755

①天井面材を必要寸法に切断してください。(表4-3参照)

5. 天井の取付け（シャッター部分） ※図はスタイルコートを示します。

5-1 天井桁枠（シャッター部用）の固定

- (1) スタイルコートの場合
 スタイルコートL1500タイプの全タイプ
 スタイルコートL3000タイプ
 標準28-54、32-60 縦延長32-74の場合の作業です。

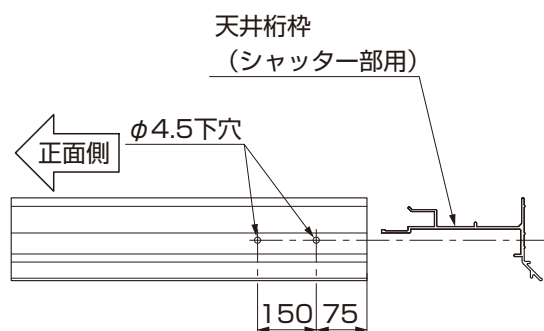


図5-1

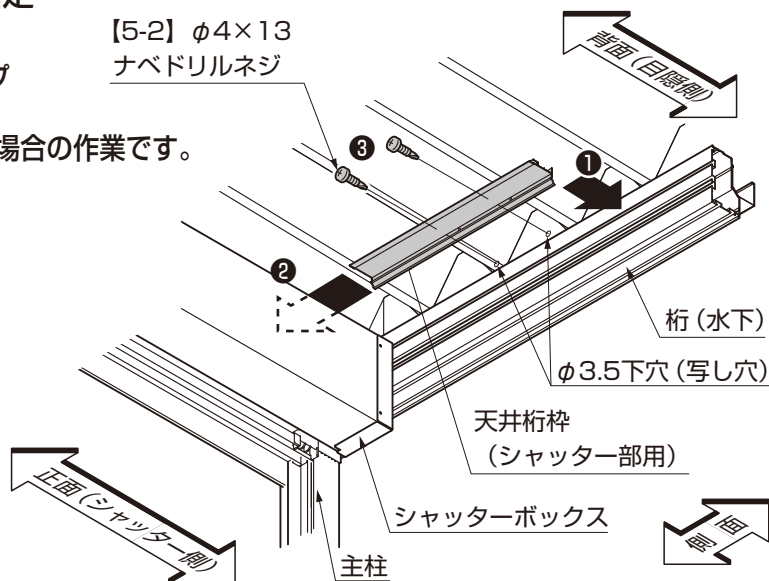


図5-2

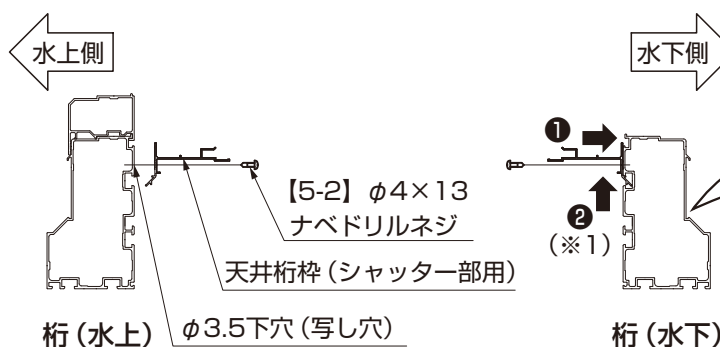


図5-3 スタイルコートの場合

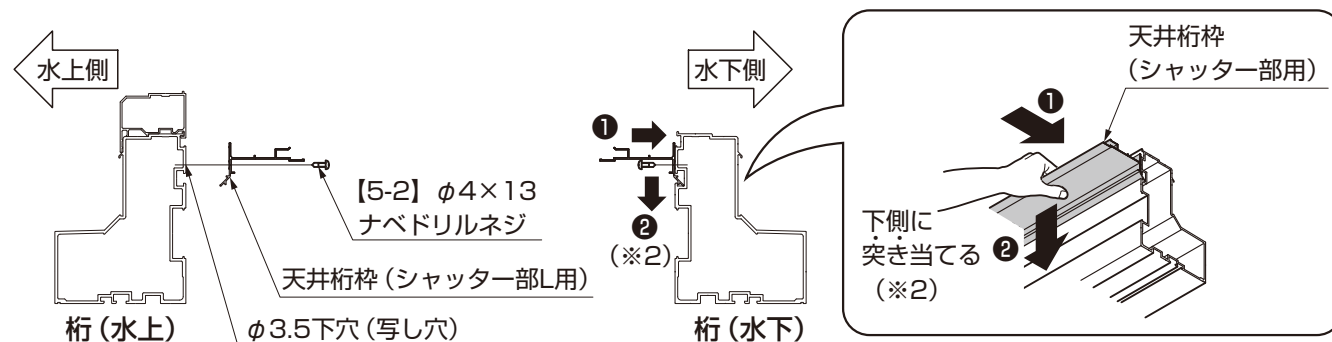


図5-4 スタイルコートLの場合

- ①天井桁枠（シャッター部用）に、φ4.5の下穴をあけてください。（図5-1参照）
- ②天井桁枠（シャッター部用）を、桁または中間桁の溝に合わせ、正面（シャッター側）に押込んでください。
- ③天井桁枠（シャッター部用）を、桁または中間桁にφ3.5の下穴（写し穴）をあけて、【5-2】で取付けてください。

ポイント

- スタイルコートの場合は、天井桁枠（シャッター部用）を、桁に押し当てた状態で、**上側**に突き当てて、【5-2】で取付けてください。（図5-3参照）
- スタイルコートLの場合は、天井桁枠（シャッター部用）を、桁に押し当てた状態で、**下側**に突き当てて、【5-2】で取付けてください。（図5-4参照）

(2) スタイルコートL3000タイプ
標準64-60、38-60の場合の作業です。

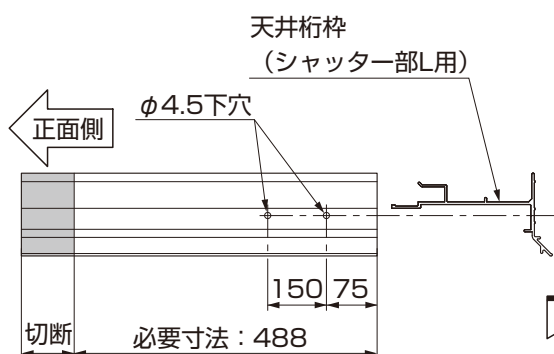


図5-5

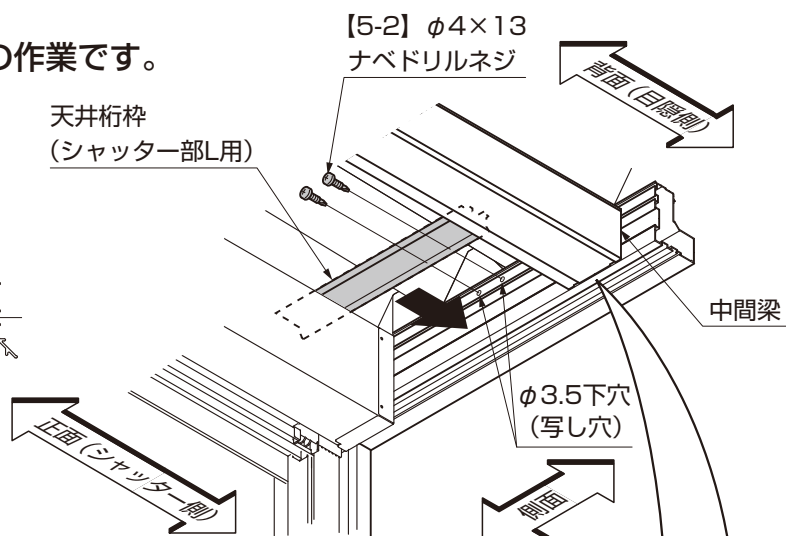


図5-6

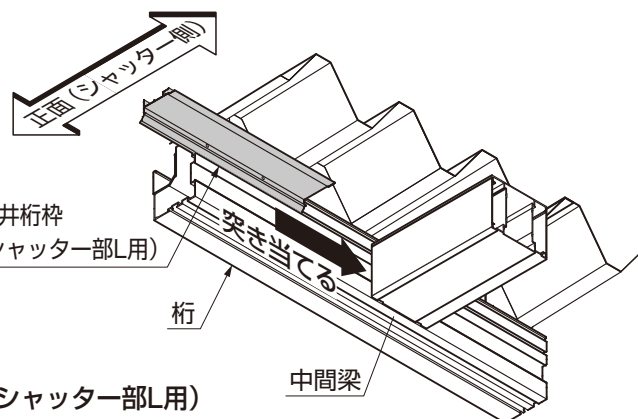
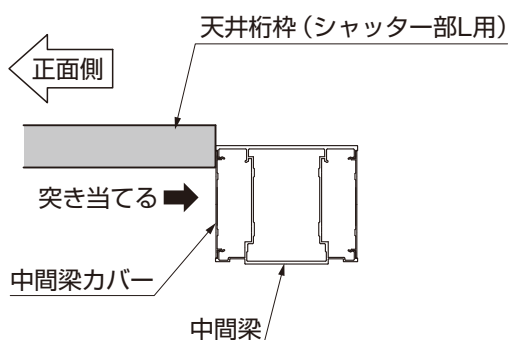


図5-7 天井桁枠（シャッター部L用）
の中間梁カバーへの突き当て

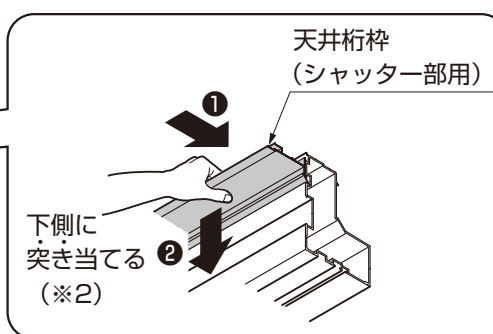
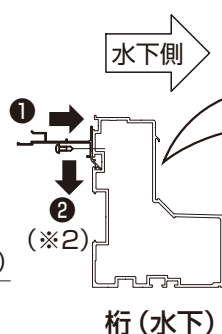
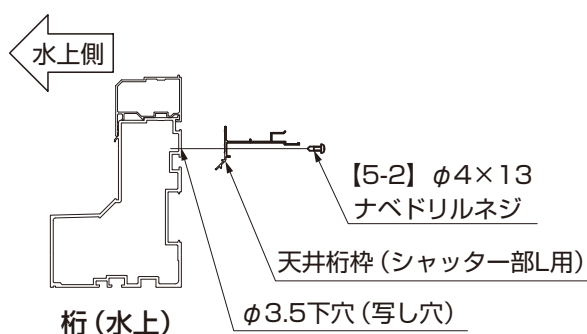


図5-8

- ①天井桁枠（シャッター部L用）を切断し、桁の溝に合わせφ4.5の下穴をあけてください。（図5-5参照）
- ①天井桁枠（シャッター部L用）を、中間梁上端に突き当ててください。（図5-7参照）
- ②天井桁枠（シャッター部L用）を、桁にφ3.5の下穴（写し穴）をあけて、【5-2】で取付けてください。

ポイント

- 天井桁枠（シャッター部L用）を、桁に押し当てた状態で、下側に突き当てて、【5-2】で取付けてください。（図5-8参照）

5. (つづき)

5-2 天井端部梁（シャッター部分）の取付け

※スタイルコートの場合

スタイルコートL1500タイプの全タイプの場合

スタイルコートL3000タイプ

標準28-54、32-60 縦延長32-74の場合の作業です。

ポイント

- スタイルコートL3000タイプ（標準34-60・38-60）の場合は、天井端部梁Aの取付けは不要です。正面側の「中間梁」の上面の中心にケガキ線（※1）を描いてください。

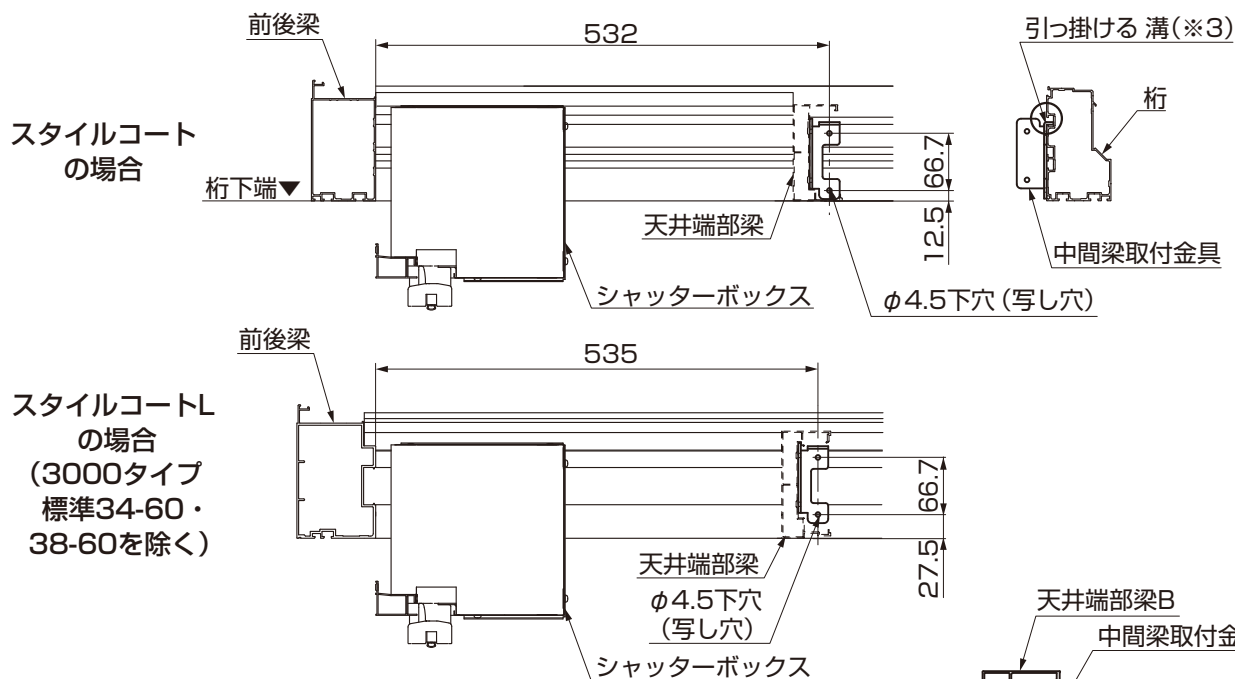


図5-9 天井端部梁（シャッター部分）取付け位置の下穴あけ

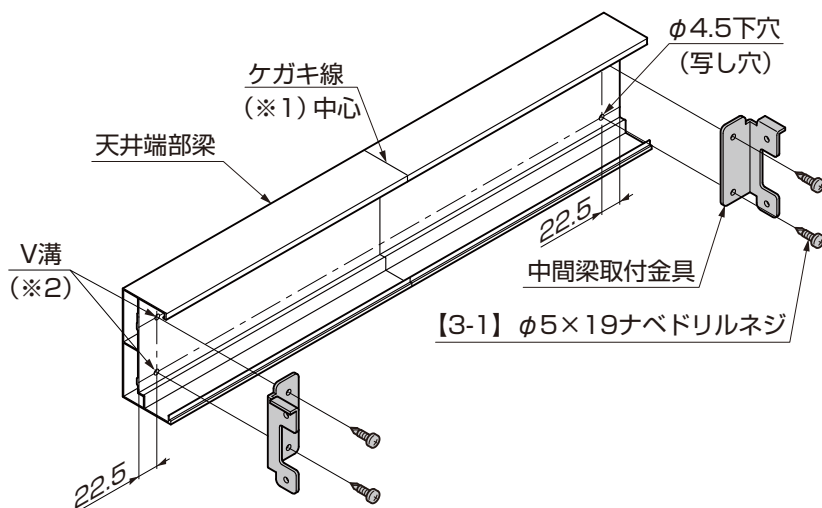


図5-10 中間梁取付金具取付け位置（スタイルコートの場合）

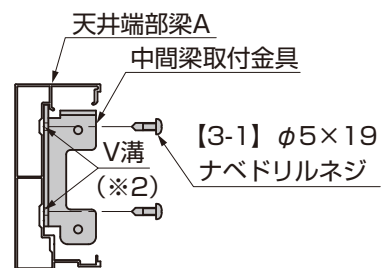
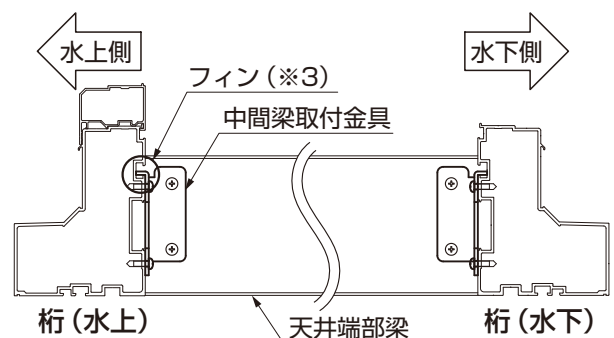
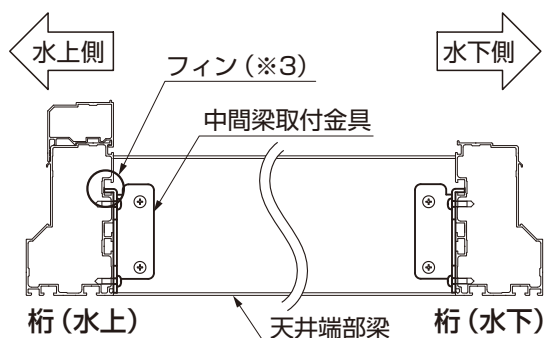
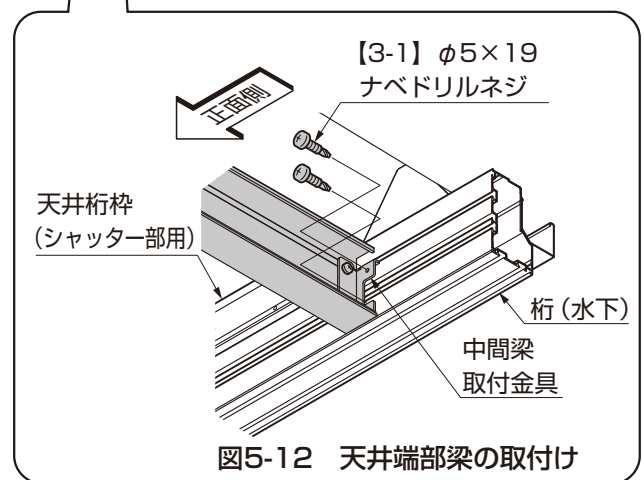
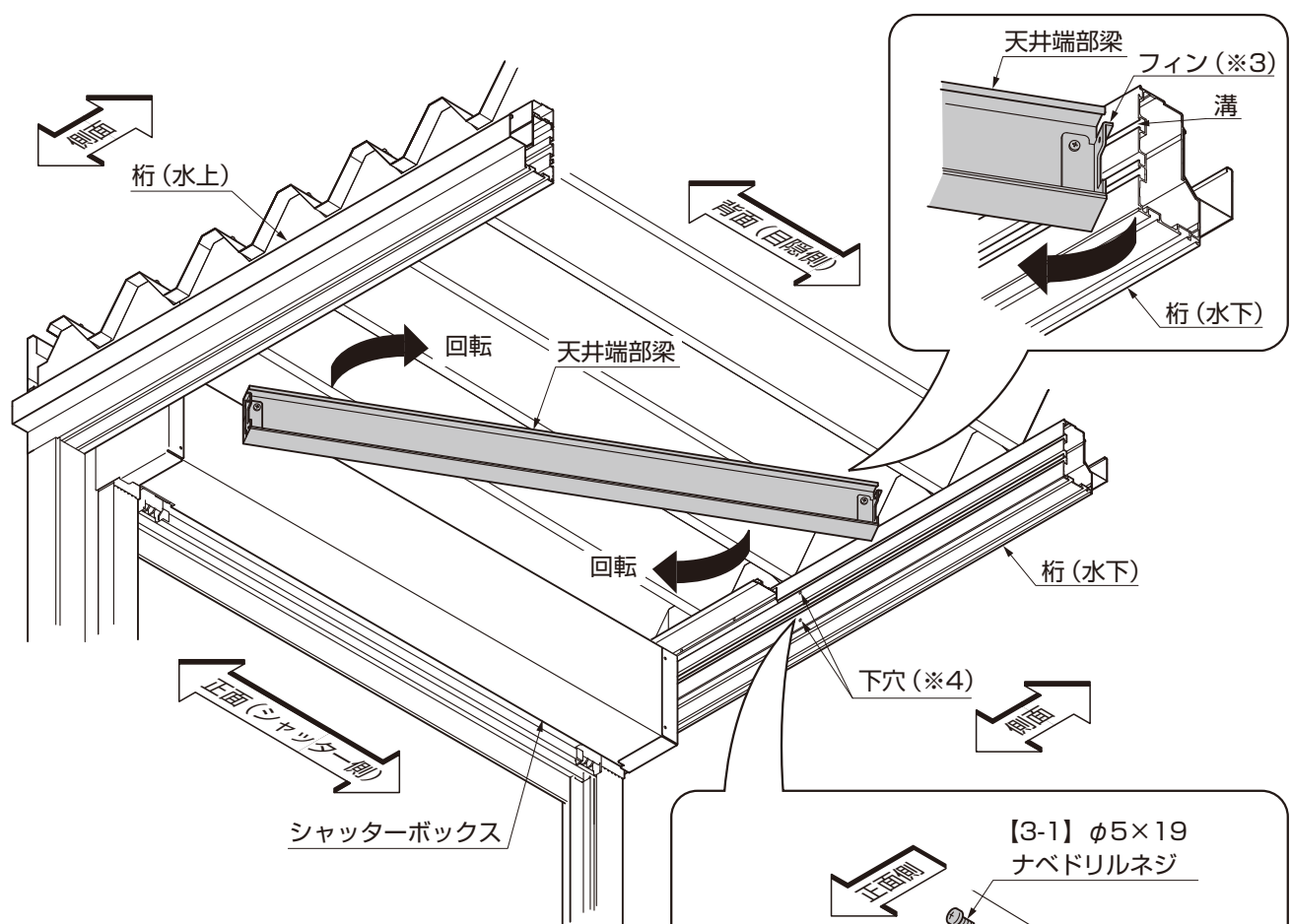


図5-11 中間梁取付金具取付け位置（スタイルコートLの場合）

- ①天井端部梁の中間梁取付金具を取付ける位置のV溝（※2）にφ4.5の下穴をあけてください。
- ②桁の溝に中間梁取付金具のフィンを引っ掛けて（※3）桁にφ4.5の下穴（写し穴）をあけてください。（図5-9参照）
- ③中間梁取付金具を、天井端部梁に【3-1】で取付けてください。（図5-10、図5-11参照）

ポイント

- スタイルコートの場合は天井端部梁Bを、スタイルコートLの場合は天井端部梁Aを使用してください。



- ④天井端部梁を斜めにして、中間梁取付金具のフィン(※3)を桁の溝に引っかけてください。
- ⑤天井端部梁を回転させて中間梁取付金具と、桁の下穴(※4)の位置を合わせてください。
- ⑥中間梁取付金具を桁に【3-1】で取付けてください。(図5-12参照)

5. (つづき)

5-3 天井面材（シャッター部）の取付け

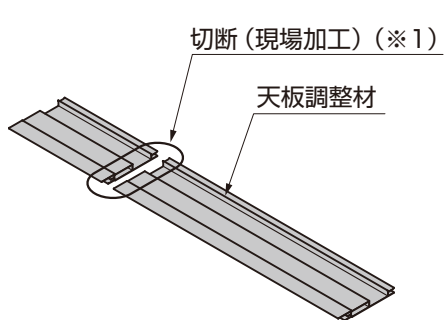


図5-14 天板調整材の加工
(スタイルコートの場合)

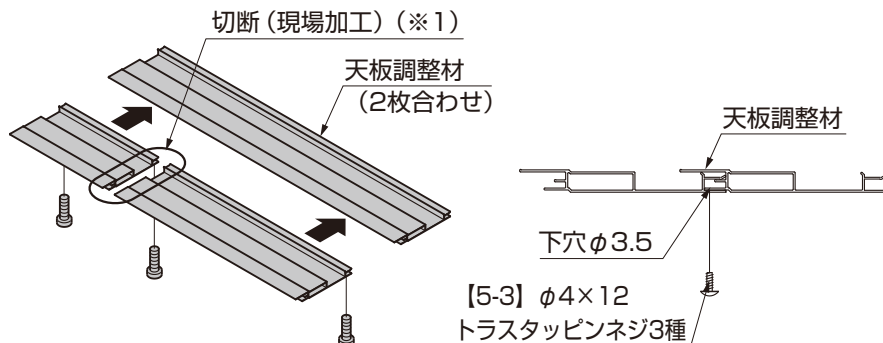


図5-15 天板調整材 (2枚合わせ) の加工と組付け
(スタイルコートLの場合)

ポイント

- シャッター配線位置は、天板調整材を切断（現場加工）※1してください。
- スタイルコートLの場合は天板調整材を2枚組み合わせた状態で天板に取付けてください。（図5-15参照）

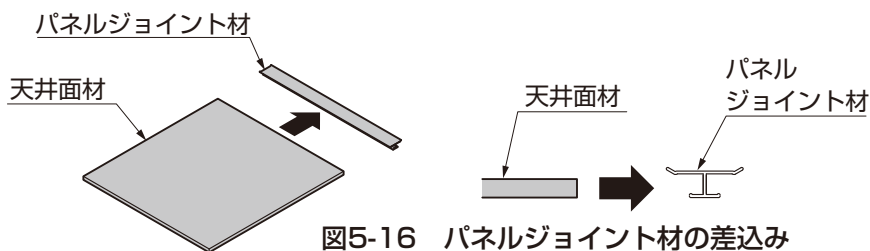


図5-16 パネルジョイント材の差込み

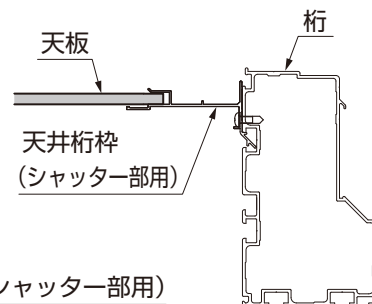


図5-17 天井面材の納まり

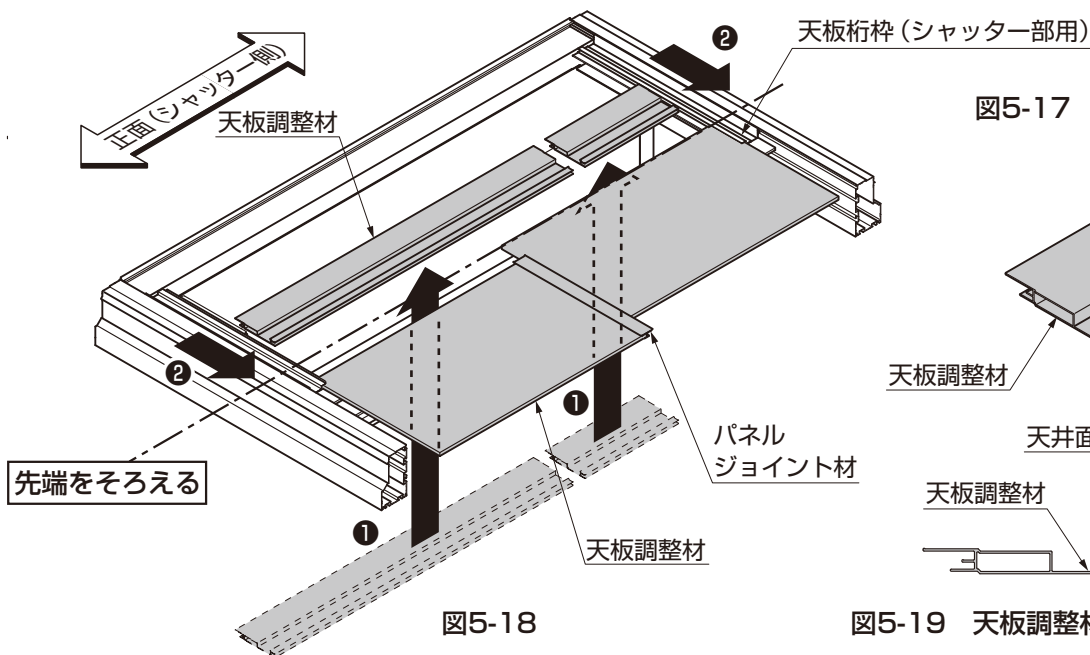


図5-18

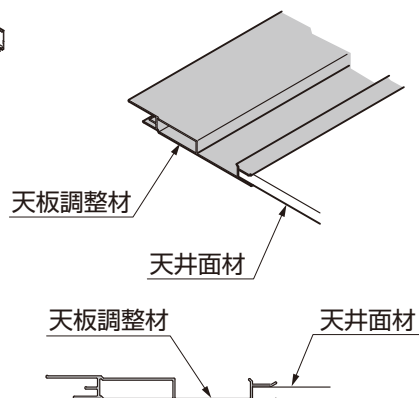


図5-19 天板調整材と天井面材の納まり

- ①天井面材を天井端部梁の上をスライドさせながら天井桁枠（シャッター部用）の溝に差込んでください。（図5-17参照）
- ②もう片方の天井面材とパネルジョイント材をはめあわせてください。（図5-16参照）
- ③パネルジョイント材とはめ合わせた天井面材を①の手順と同様にスライドさせながら天井桁枠（シャッター部用）に差込んでください。（図5-17、図5-18参照）
- ④初めに差込んだ天井面材をパネルジョイント材に差込んで、先端をそろえてください。（図5-18参照）
- ⑤天板調整材を天井面材に差込んでください。（図5-18参照）

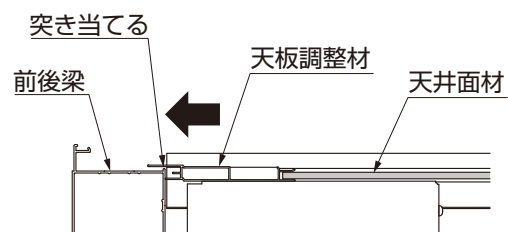
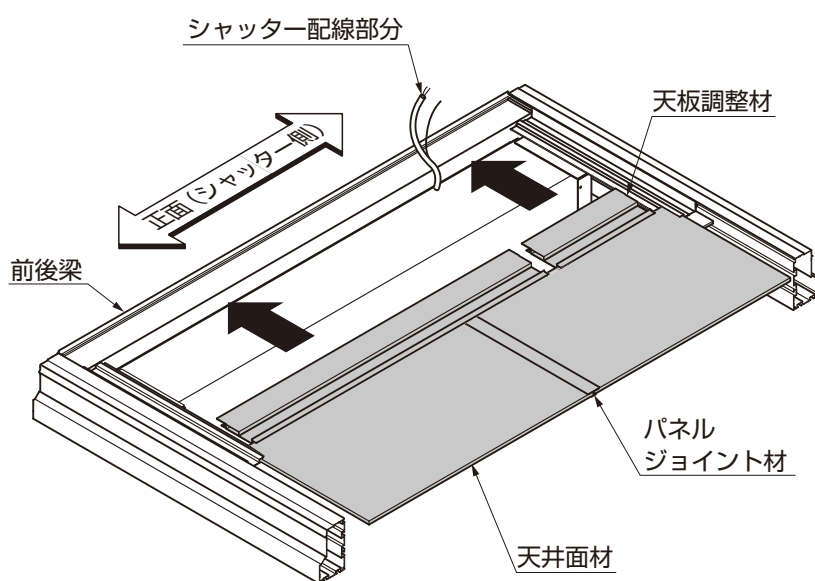


図5-20 天井面材（一体化）の納まり

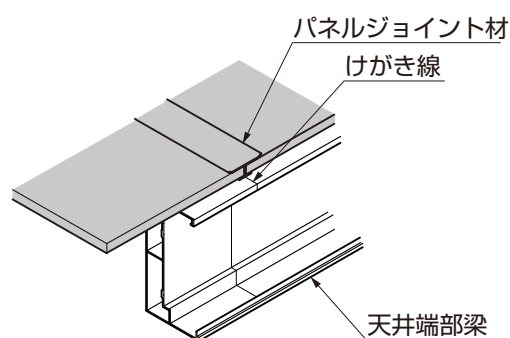


図5-21 中心合わせ

⑥一体化した天井面材をシャッターボックスの上側から前後梁に突き当ててください。（図5-20参照）

ポイント

- パネルジョイント材を天井端部梁のケガキ線（中心線）の上に天井面材の中心を合わせて置いてください。（図5-21参照）

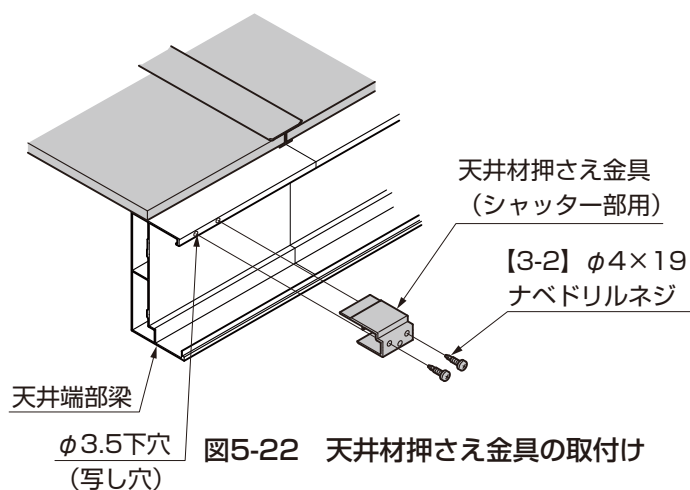


図5-22 天井材押さえ金具の取付け

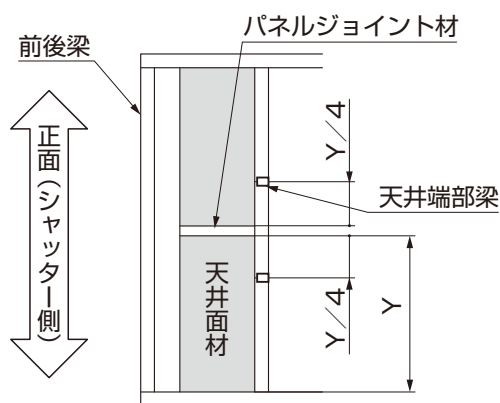


図5-23 天井材押さえ金具の取付け位置

⑦天井端部梁にφ3.5の下穴（写し穴）をあけてください。（図5-22参照）

⑧天井材押さえ金具（シャッター部用）を天井端部梁に、天井面材をはさみこむように【3-2】で取付けてください。（図5-22参照）

ポイント

- 天井材押さえ金具（シャッター部用）は、パネルジョイント材から天井面材の1/4の寸法に取付けてください。（図5-23参照）
- スタイルコートLの納まりについては「2. 基本寸法と加工寸法」のC-C断面を参照してください。

6. 天井の取付け（通常部分）

6-1 天井端部梁B（採光梁脇）の取付け ※スタイルコートの場合の作業です。

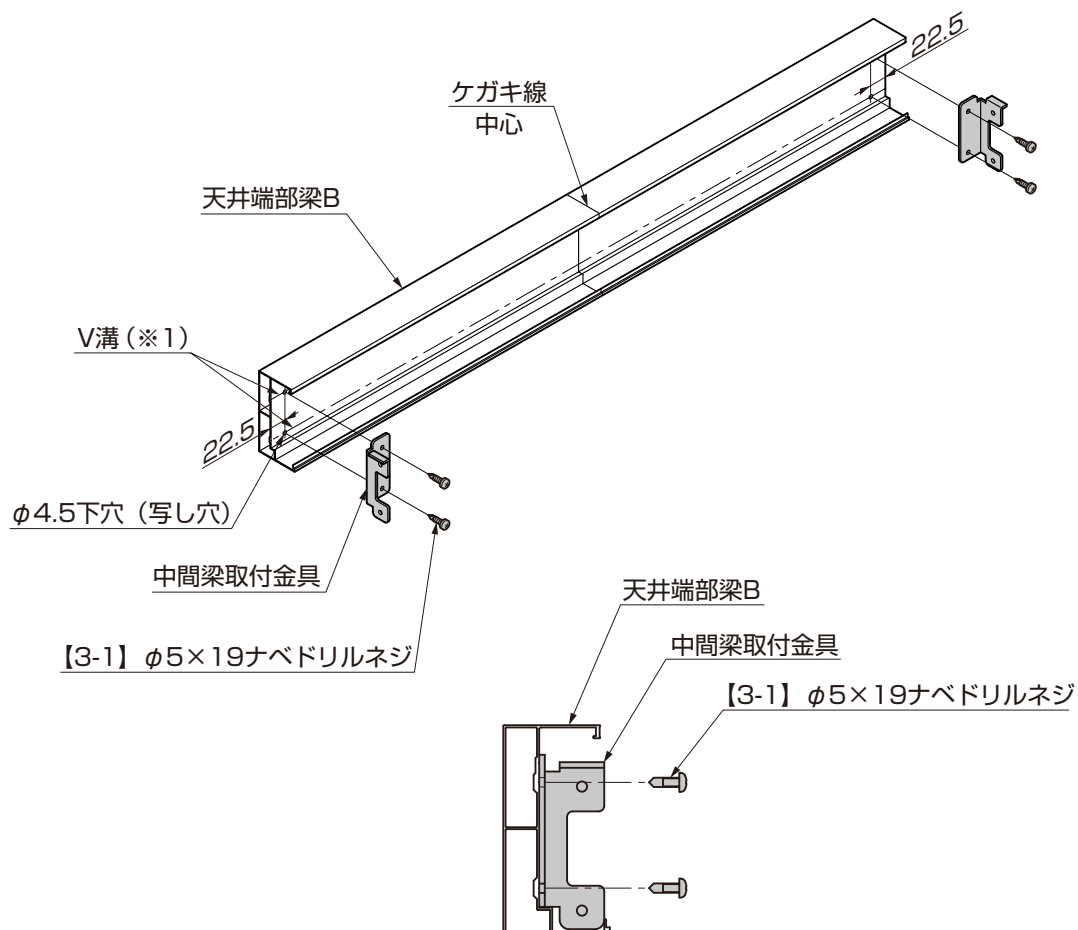


図6-1 中間梁取付金具取付け位置

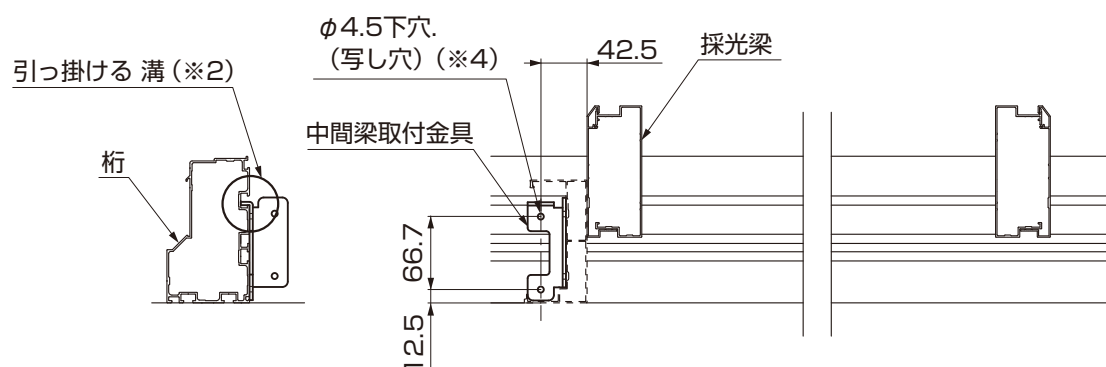
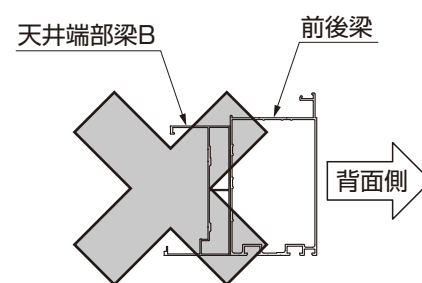
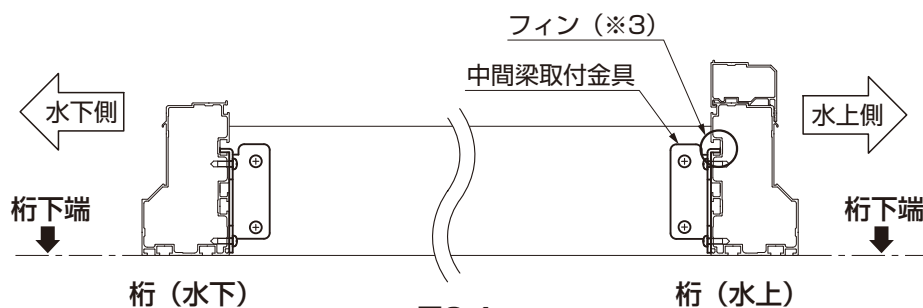
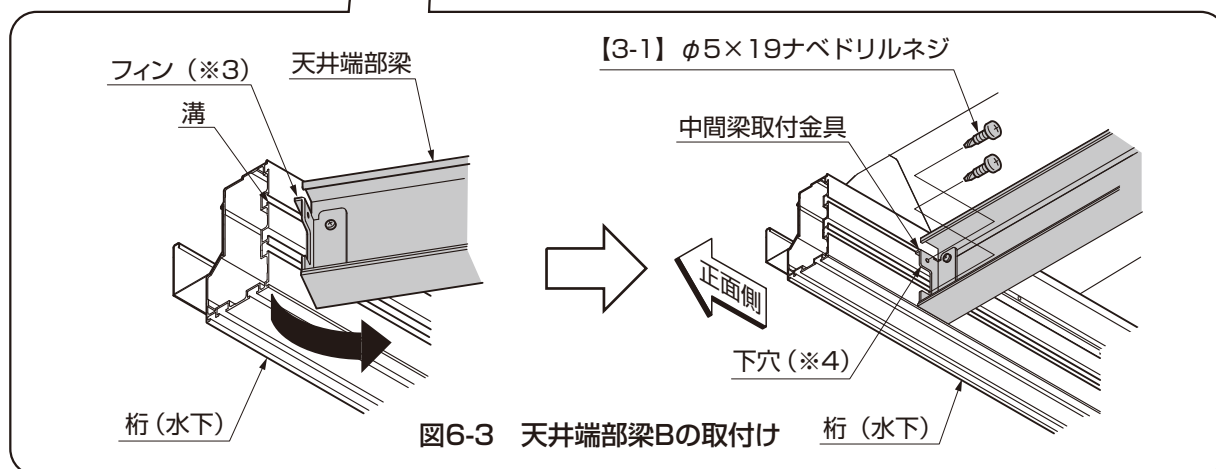
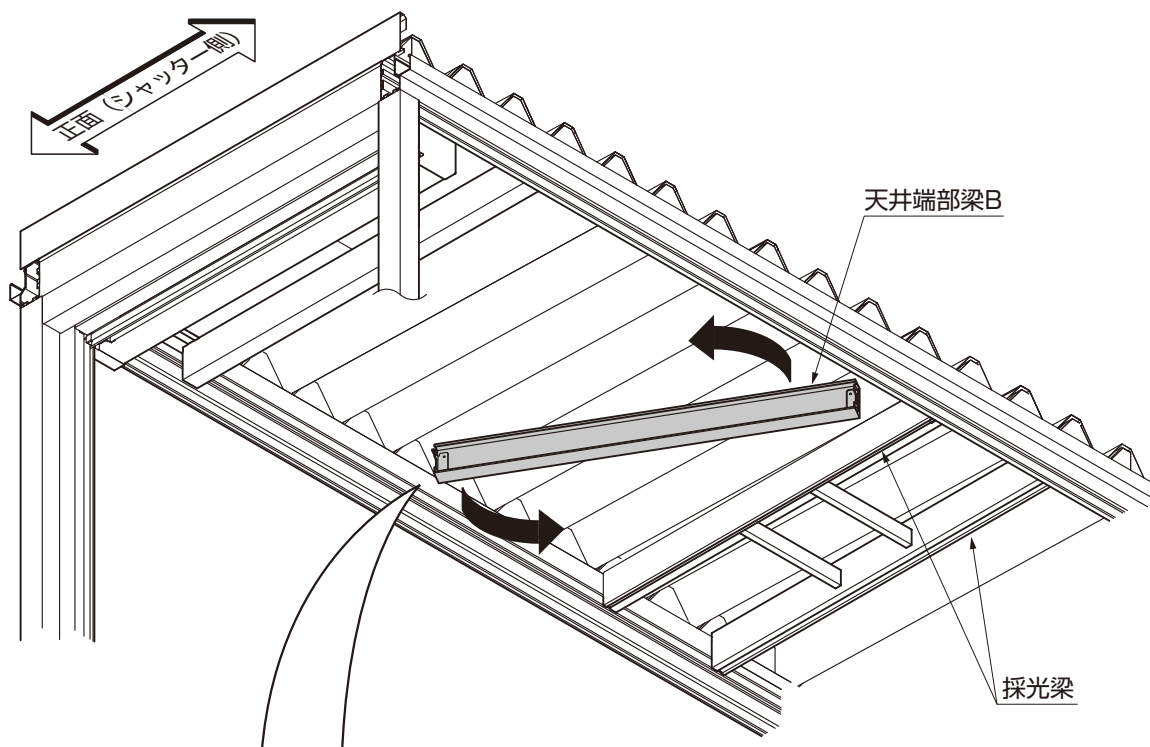


図6-2 桁の下穴あけ

- ①天井端部梁Bの中間梁取付け金具を取付ける位置のV溝（※1）にφ4.5の下穴をあけてください。
- ②中間梁取付金具を桁の溝に引っ掛けて（※2）、φ4.5の下穴（写し穴）（※4）をあけてください。（図6-2参照）
- ③中間梁取付金具を天井端部梁Bに【3-1】で取付けてください。（図6-1参照）



- ④中間梁取付金具のフィン(※3)を桁の溝に引っ掛けてください。
- ⑤天井端部梁Bを回転させて、中間梁取付金具を桁の下穴(※4)の位置を合わせてください。
- ⑥中間梁取付金具を【3-1】で取付けてください。

ポイント

- 背面側前後梁脇への天井端部梁Bの取付けはありません。(図6-5参照)

6. (つづき)

6-2 中間梁カバーの取外し ※スタイルコートLの場合

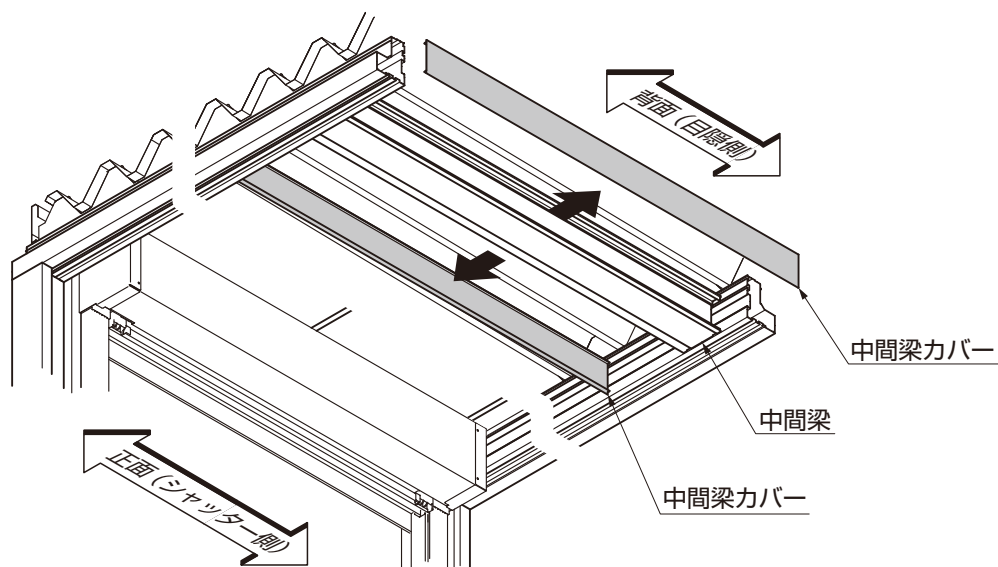


図6-6 スタイルコートL1500タイプ
スタイルコートL3000タイプ 標準28-54、32-60 縦延長32-74の場合

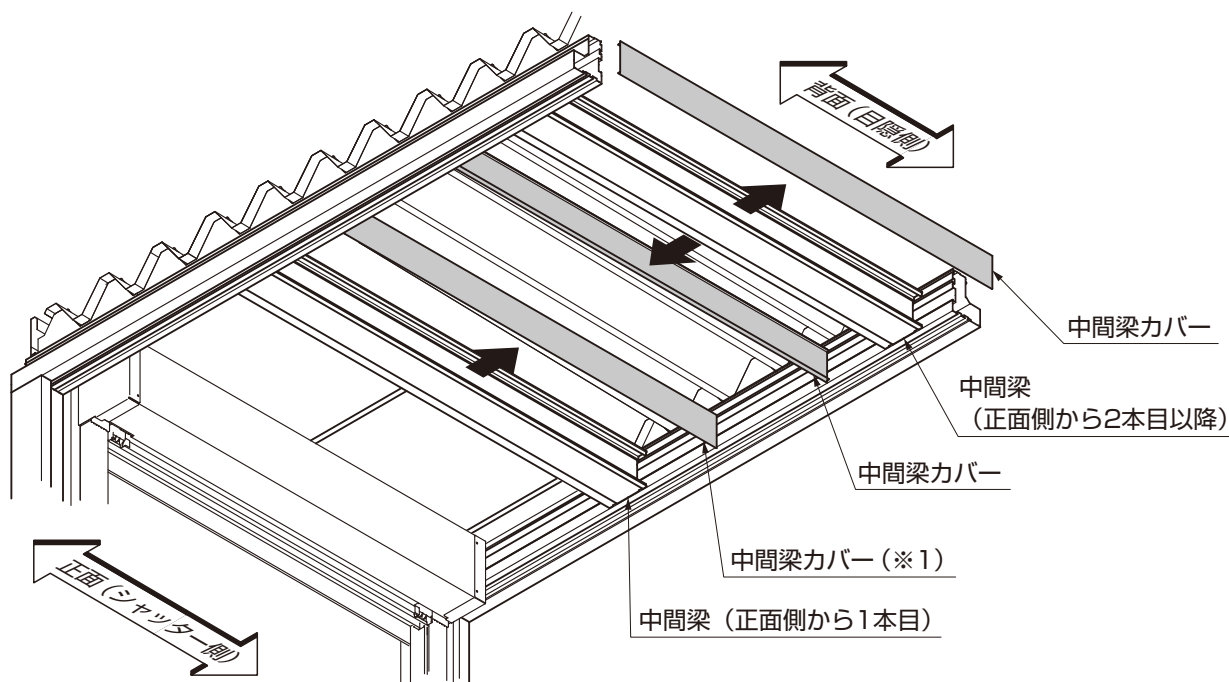


図6-7 スタイルコートL3000タイプ 標準64-60、38-60の場合

①スタイルコートLの場合は、中間梁カバーを取外してください。

ポイント

- 中間梁カバーが上手く取外しできない場合は、中間梁カバー表面に大きな穴をあけて、こじあけて外してください。
- 取外した中間梁カバーは使用しません。
- スタイルコートL 3000タイプ標準34-60・38-60の場合は、正面側から1本目の中間梁は背面側の中間梁カバー(※1)を取外してください。正面側から2本目以降の中間梁は両側の中間梁カバーを取外してください。(図6-7参照)

6-3 天井桁枠の加工 ※図は右勝手を示します。

(1) スタイルコートの場合

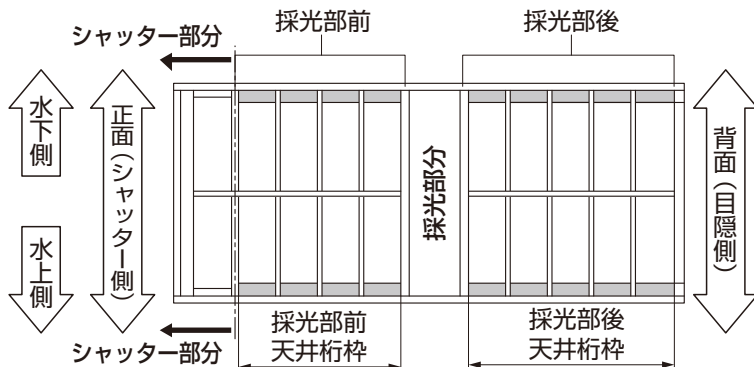


表6-1 採光部前の場合

サイズ呼称	必要寸法 参考	X 参考	Y 参考
L54	1555	550	661
L60	2155	250	361
L74	2955	150	261

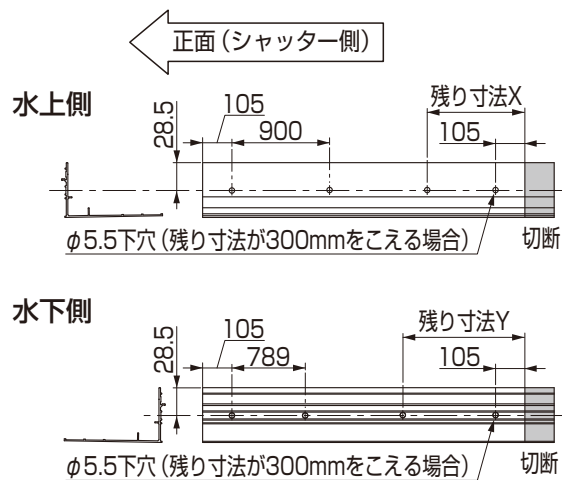
表6-2 採光部後の場合

サイズ呼称	必要寸法 参考	X 参考	Y 参考
L54	2301.7	396.7	507.7
L60			
L74	2901.7	996.7	207.7

①切断した残り寸法X、寸法Yが300mmをこえるときは、切断端部から105mmの部分にφ5.5の下穴をあけてください。

ポイント

- 必要寸法は参考寸法です。実際は現場寸法に合わせて切断してください。
- フーゴA連棟の場合は「(4)フーゴA連棟の場合の追加加工」を参照し、加工を追加をしてください。



(2) スタイルコートLの場合 ※1500タイプの全タイプ、3000タイプ 標準28-54・32-60、縦延長32-74を示します。

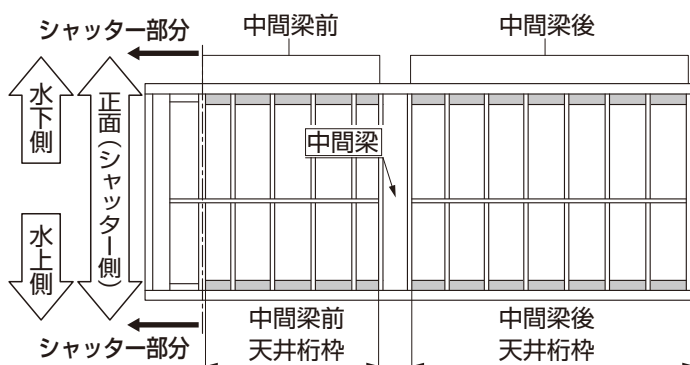


表6-3 中間梁前場合

サイズ呼称	必要寸法 参考	X 参考	Y 参考
L54	1999	994	205
L60			
L74	2799	894	105

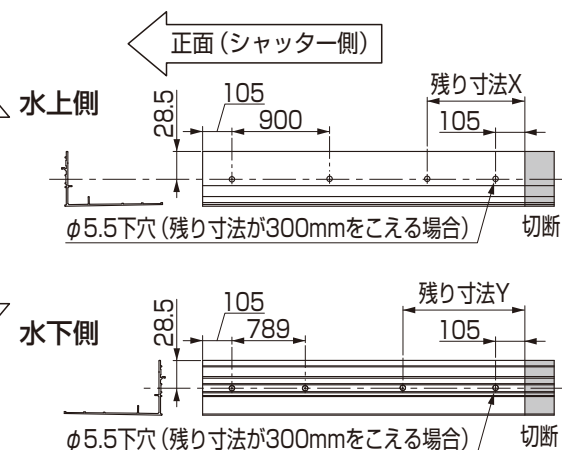
表6-4 中間梁後の場合

サイズ呼称	必要寸法 参考	X 参考	Y 参考
L54	2499	594	705
L60		294	405
L74	3699 (部材寸法)	894	105

①切断した残り寸法X、寸法Yが300mmをこえるときは、切断端部から105mmの部分にφ5.5の下穴をあけてください。

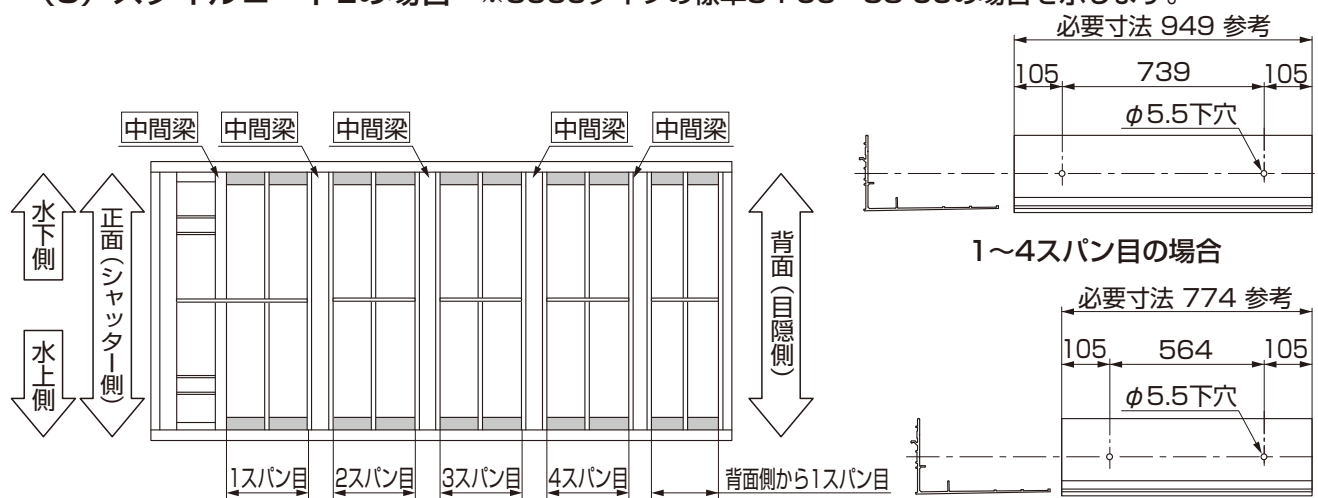
ポイント

- 必要寸法は参考寸法です。実際は現場寸法に合わせて切断してください。



6. (つづき)

(3) スタイルコートLの場合 ※3000タイプの標準34-60・38-60の場合を示します。

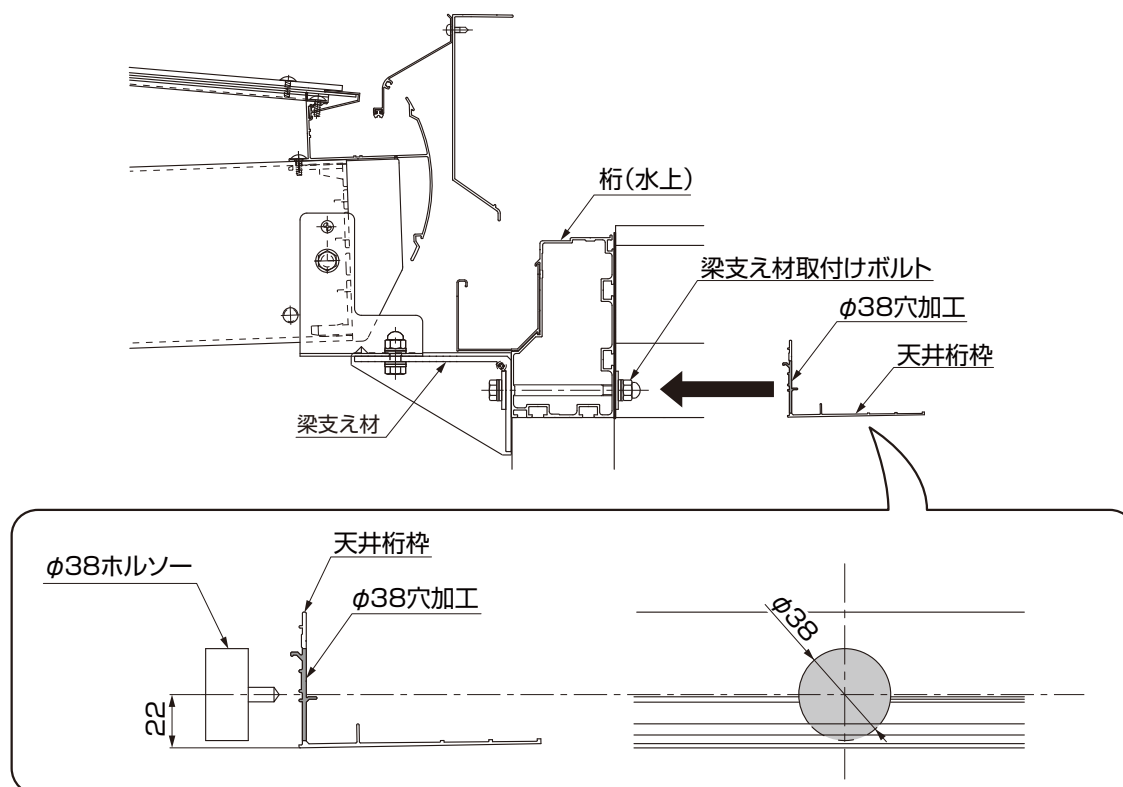


①切断した天井桁の両端部から105mmの部分に $\phi 5.5$ の下穴をあけてください。

ポイント

●必要寸法は参考寸法です。実際は現場寸法に合わせて切断してください。

(4) フーゴA連棟の場合の追加加工 ※フーゴA連棟時のみ



①フーゴA連棟の梁支え材取付けボルトの位置に $\phi 38$ の穴をあけてください。

ポイント

●フーゴA連棟の梁支え材取付けボルトの位置は、「スタイルコート 取付説明書 (D406)」を参照してください。

6-4 天井桁枠の取付け

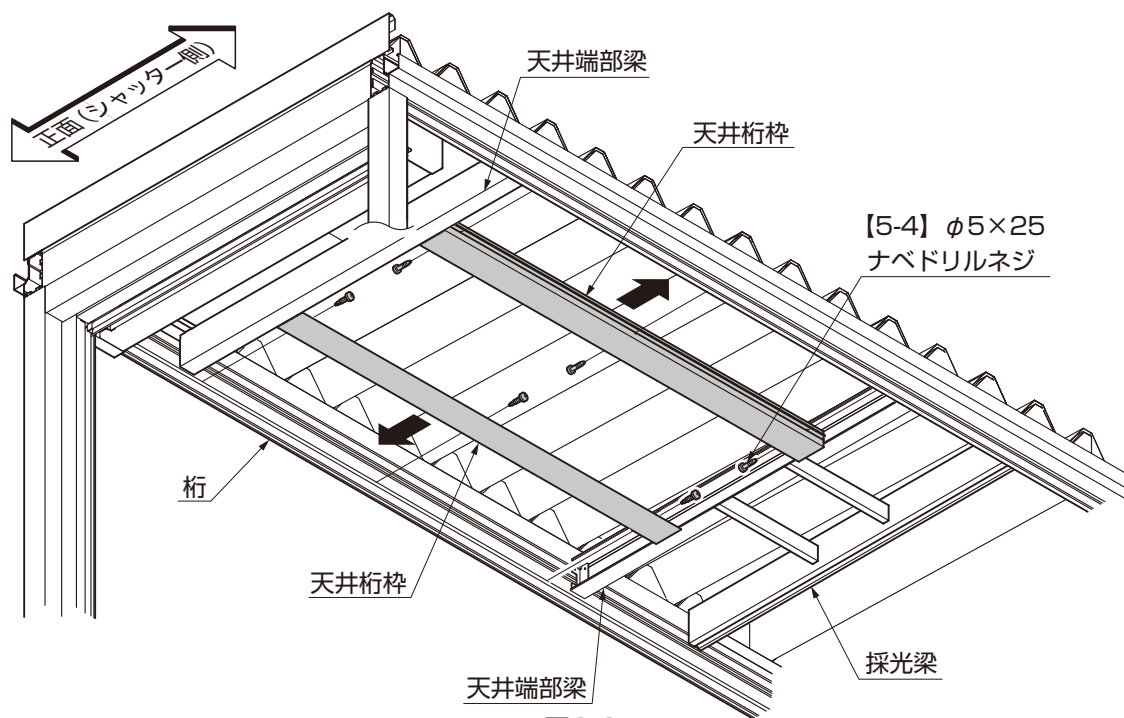


図6-8

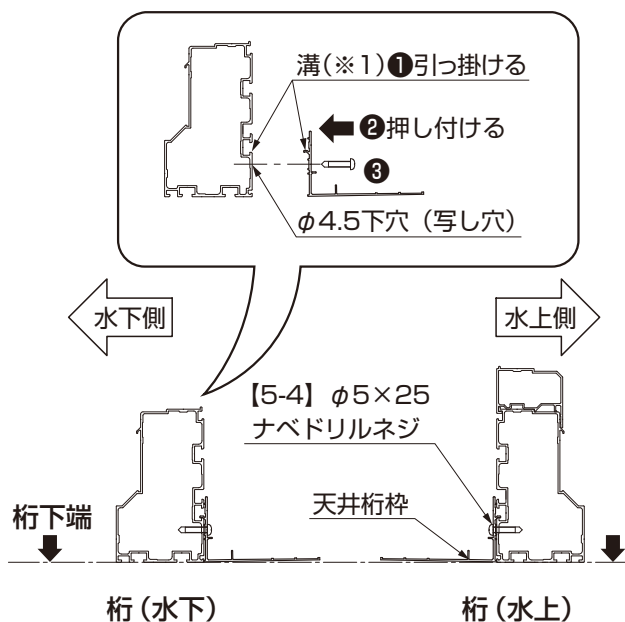


図6-9 スタイルコートの場合

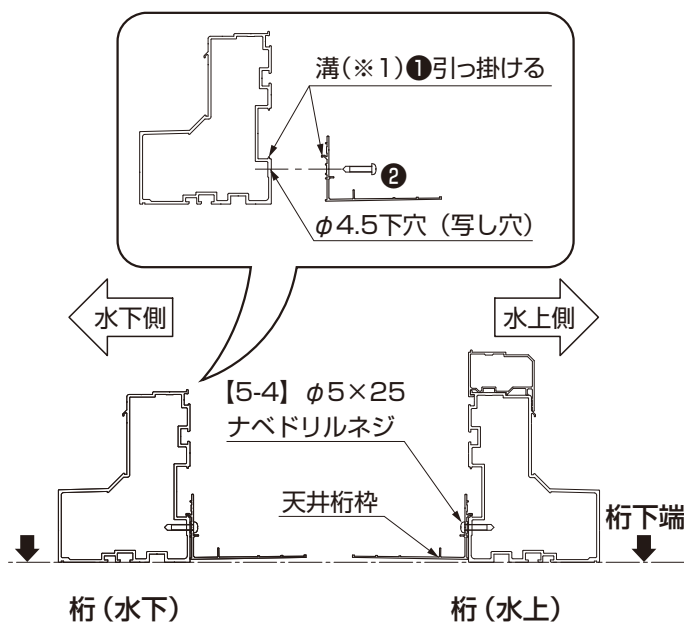


図6-10 スタイルコートLの場合

①天井桁枠を、桁の溝(※1)に引っ掛けて、φ4.5の下穴(写し穴)をあけて、【5-4】で取付けてください。

ポイント

- スタイルコートの場合は、天井桁枠を、「①桁に引っ掛ける、②桁に押し付ける、③【5-4】で取付ける」の手順で取付けてください。(図6-9参照)
- スタイルコートLの場合は、天井桁枠を、「①桁に引っ掛ける、②【5-4】で取付ける」の手順で取付けてください。(図6-10参照)

6. (つづき)

6-5 天井梁端部用の取付け

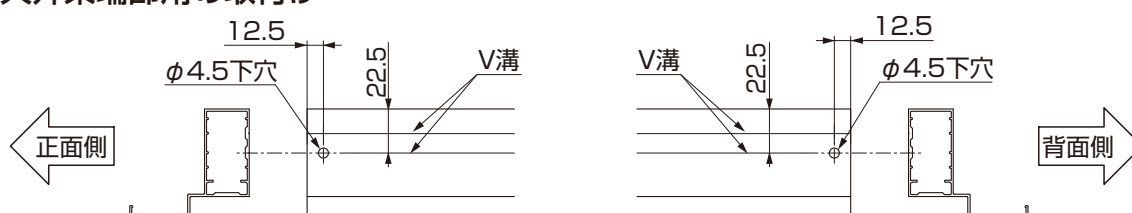


図6-11 天井梁端部用の加工

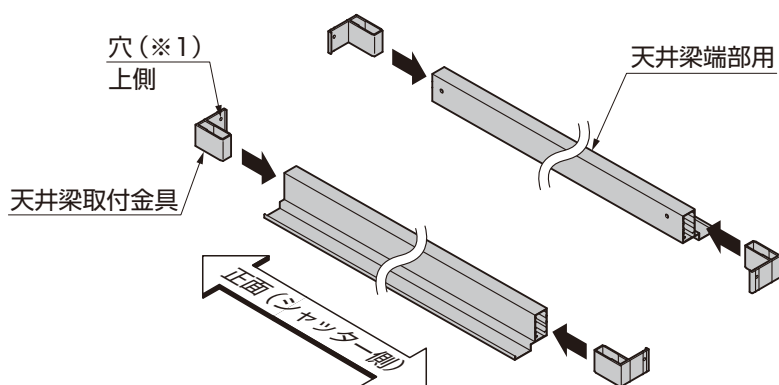
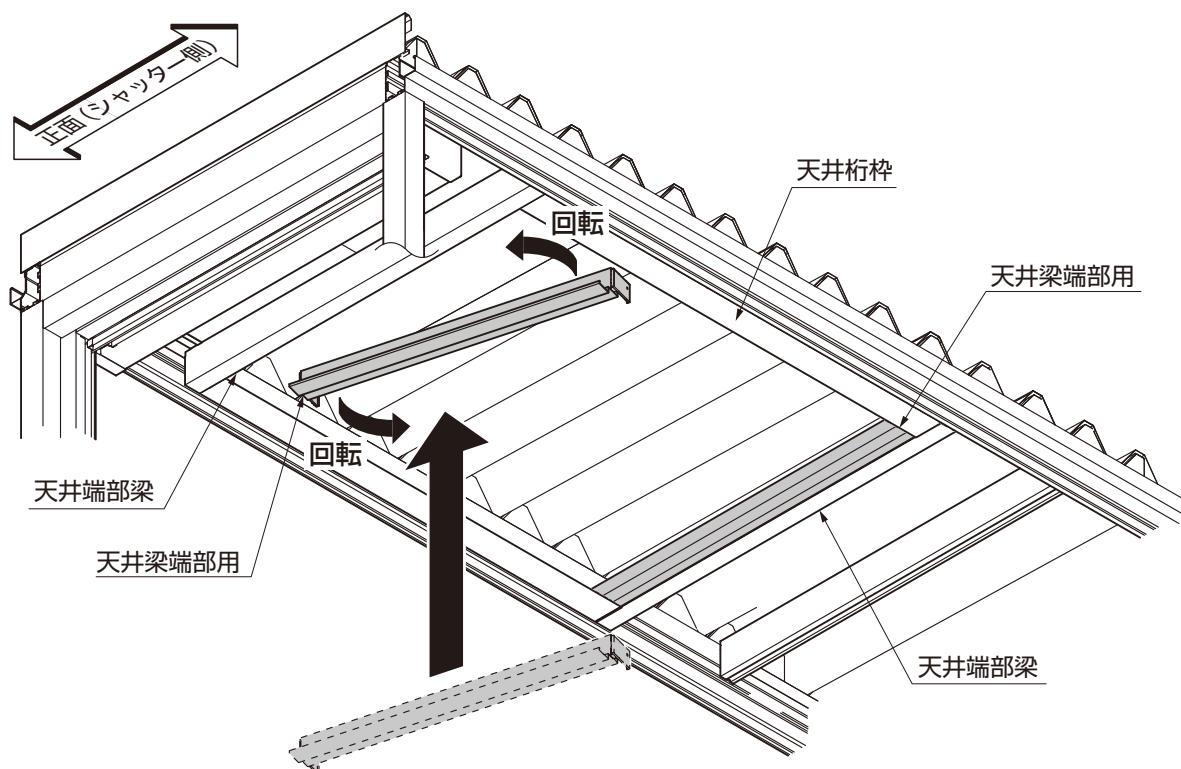


図6-12 天井梁取付金具の向き

- ①天井梁端部用の両端部にφ4.5の下穴をあけてください。(図6-11参照)
- ②天井梁端部用の両端に、天井梁取付金具を差込んでください。(図6-12参照)

ポイント

- 天井梁取付金具には向きがあります。天井梁取付金具は穴の開いている側(※1)が上になるように差込んでください。



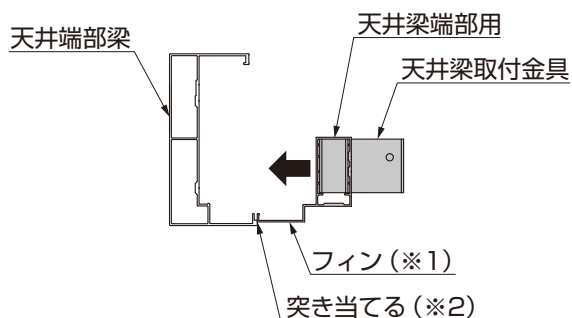


図6-13 天井梁端部用の向き（天井端部梁側）

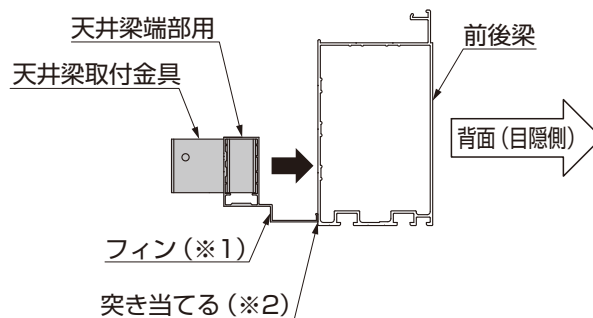


図6-14 天井梁端部用の向き（前後梁側）

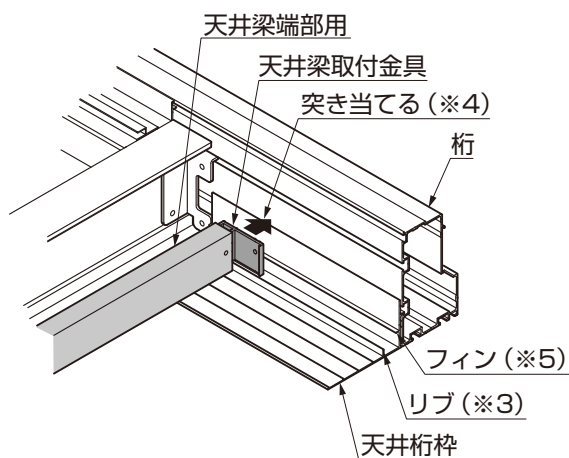


図6-15 天井梁取付金具と天井桁枠の取り付け

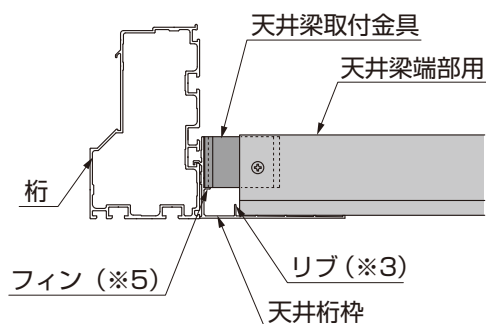


図6-16 天井梁端部用の納まり

②天井梁端部用を、天井桁枠の上に乘せ、天井端部梁または前後梁に突き当てて（※2）ください。

ポイント

- 天井梁端部用は、フィン（※1）のある側が天井端部梁側、もしくは前後梁側になります。（図6-13、図6-14参照）
- 天井梁端部用を天井桁枠の上に乗せる際は、必ずリブ（※3）の上に乗らないようにしてください。（図6-15参照）

③天井梁端部用から天井梁取付金具を引っ張りだして、天井桁枠に突き当てて（※4）ください。（図6-15、図6-16参照）

ポイント

- 天井梁取付金具を、天井桁枠に突き当てる際、必ずフィン（※5）の上に乗るようにしてください。（図6-16参照）

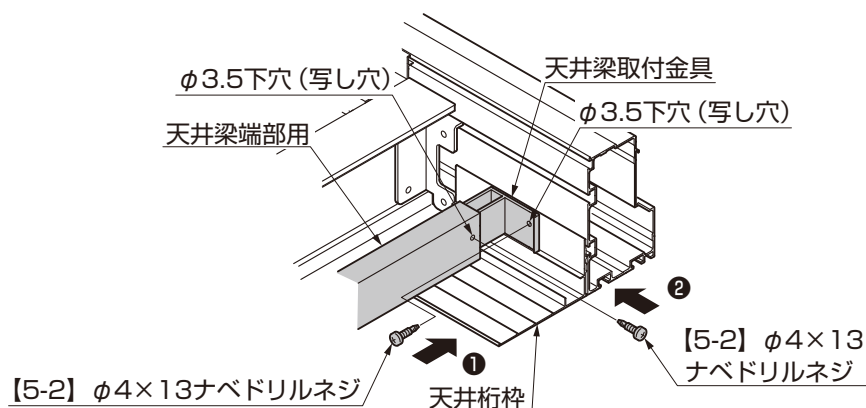
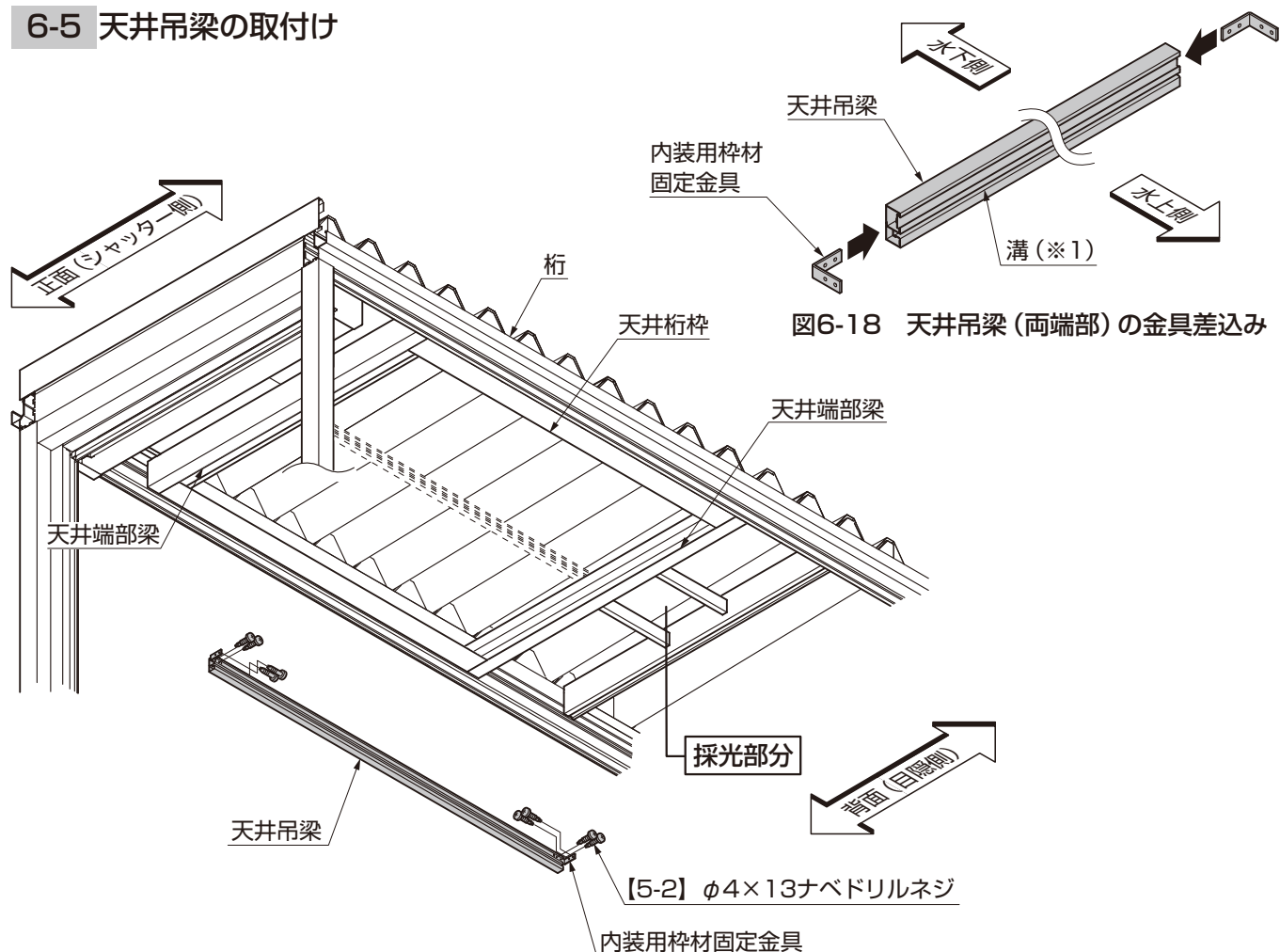


図6-17 天井端部梁の固定

- ④天井梁端部用の天井梁取付金具を、天井桁枠にφ3.5の下穴（写し穴）をあけて、【5-2】で取付けてください。
- ⑤天井梁端部用を、天井梁取付金具にφ3.5の下穴（写し穴）をあけて、【5-2】で取付けてください。

6. (つづき)

6-5 天井吊梁の取付け



1. 天井吊梁の取付け

- ① 天井吊梁の両端部に内装用枠材固定金具を差込んでください。(図6-18参照)
- ② 天井吊梁を天井梁端部用上面に乗せ、ケガキ線(中心)に天井吊梁中心と合わせてください。(図6-19参照)
- ③ 天井吊梁から、内装用枠材固定金具を引っ張りだし、天井端部梁に突き当ててください。(図6-19参照)
- ④ 内装用枠材固定金具を【5-2】で天井端部梁または、前後梁、中間梁に取付けてください。(図6-19、図6-20参照)

ポイント

- 天井吊梁には左右があります。溝(※1)を水上側にして取付けてください。(図6-18参照)
- 背面(目隠側)は、内装用枠材固定金具を、前後梁に突き当ててください。(図6-21、図6-22参照)
- スタイルコートLは、内装用枠材固定金具を、天井梁端部用、中間梁または前後梁に突き当ててください。(図6-22参照)
- 前後梁、中間梁に内装用枠材固定金具を取付ける際は、中心にケガキ線を描いて、取付け位置にφ3.5の下穴をあけてください。(図6-19、図6-20、図6-21、図6-22参照)

- ⑤ 内装用枠材固定金具を【5-2】で天井吊梁に取付けてください。(図6-19参照)

2. 天井連結金具の取付け(端部側のみ)

- ① 天井吊梁にφ3.5の下穴をあけ、天井連結金具を【5-2】で取付けてください。
- ② 天井端部梁にφ3.5の下穴(写し穴)をあけ、天井連結金具を【5-2】で取付けてください。

ポイント

- 天井連結金具は、背面側の端部梁のみに取付けてください。

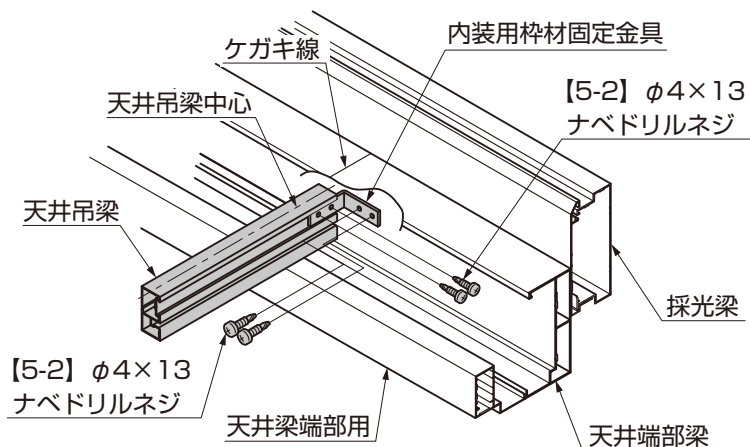


図6-19

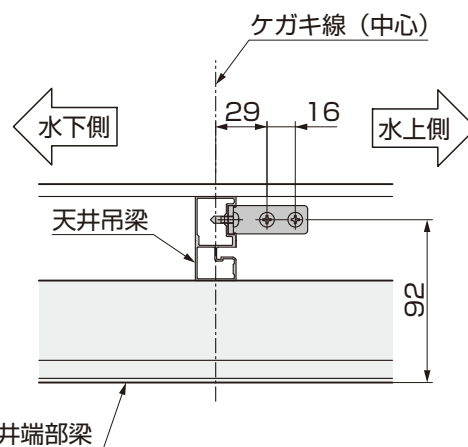


図6-20

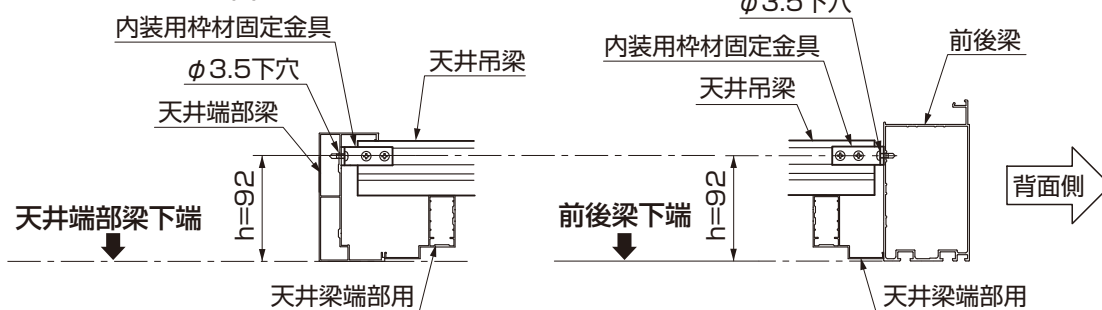


図6-21 スタイルコートの場合の天井吊梁の取付け位置

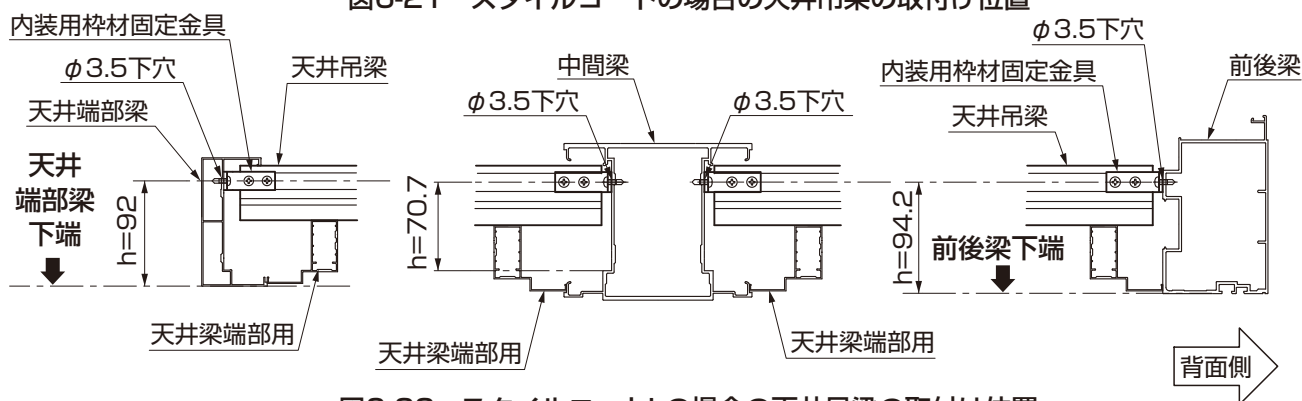


図6-22 スタイルコートLの場合の天井吊梁の取付け位置

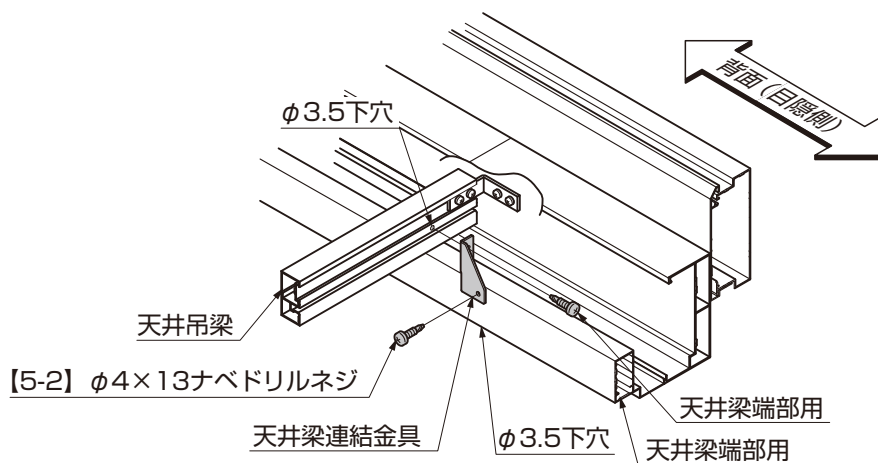


図6-23 天井梁連結金具の取付け

6. (つづき)

6-7 天井端部枠の取付け

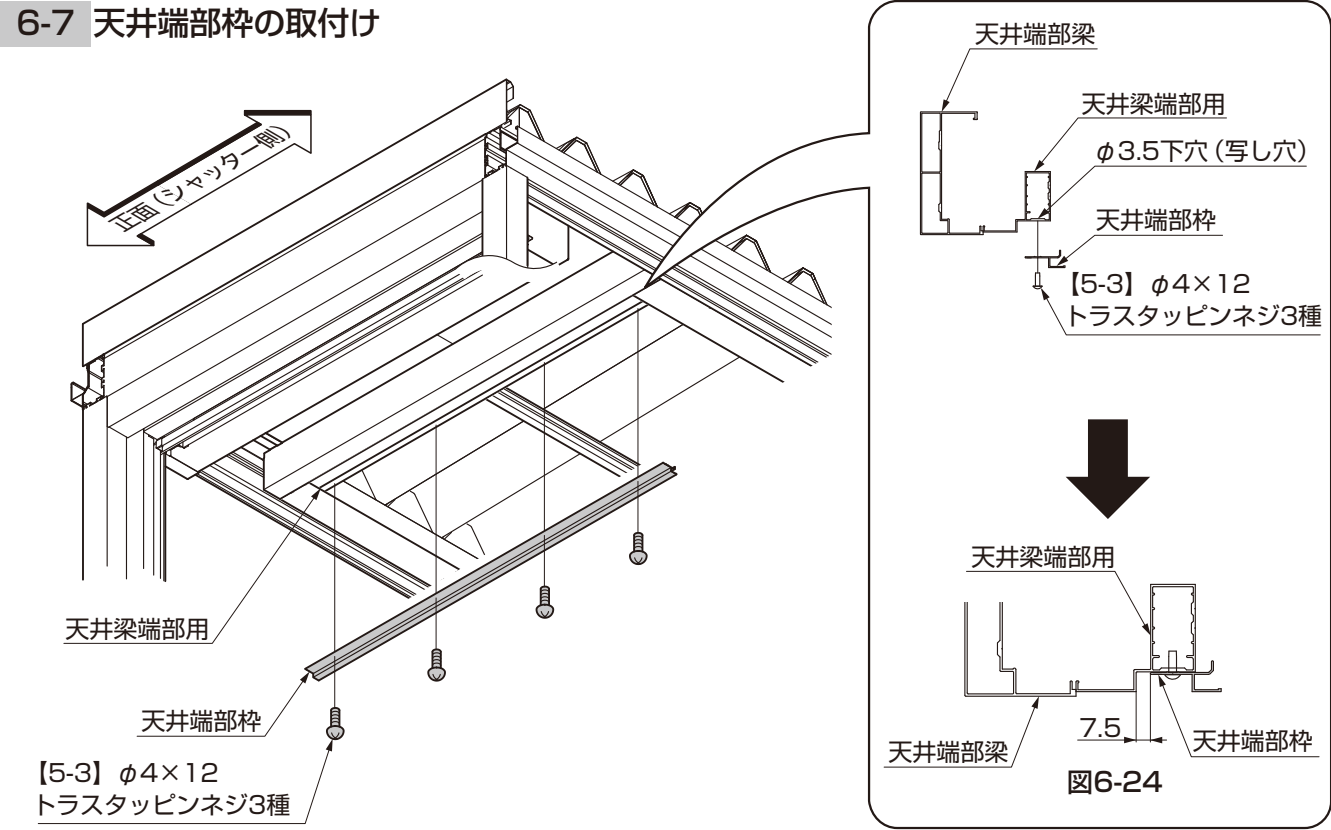


図6-25 天井端部枠の加工

図6-1 天井端部枠加工寸法

サイズ呼称	※1	※2
W28	625	500
W32	825	300
W63		
W34	925	200
W38	1125	0 (切断なし)

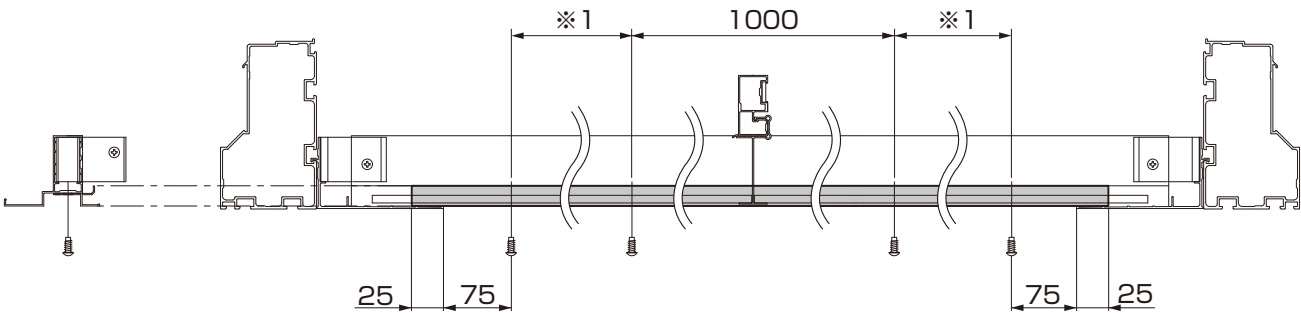


図6-26 天井端部枠の納まり

- ①天井端部枠の両端を均等に切断して、φ4.5の下穴をあけてください。
(2. 基本寸法と加工寸法、図6-25、表6-1 参照)
- ②天井端部枠を天井梁端部用の下からφ3.5の下穴(写し穴)をあけて【5-3】で取付けてください。
(図6-24、図6-26参照)

ポイント

●天井端部枠は正面側のみに取付けてください。背面側への取付けは最後に行ないます。

6-8 天井縦枠の取付け

ポイント

- 「6-8 天井縦枠の取付け」から「6-12 天井吊梁連結金具の取付け」までは、1スパン毎施工してください。

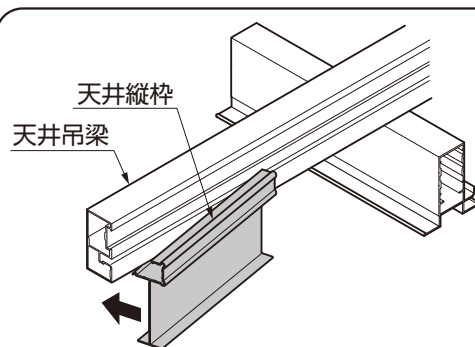
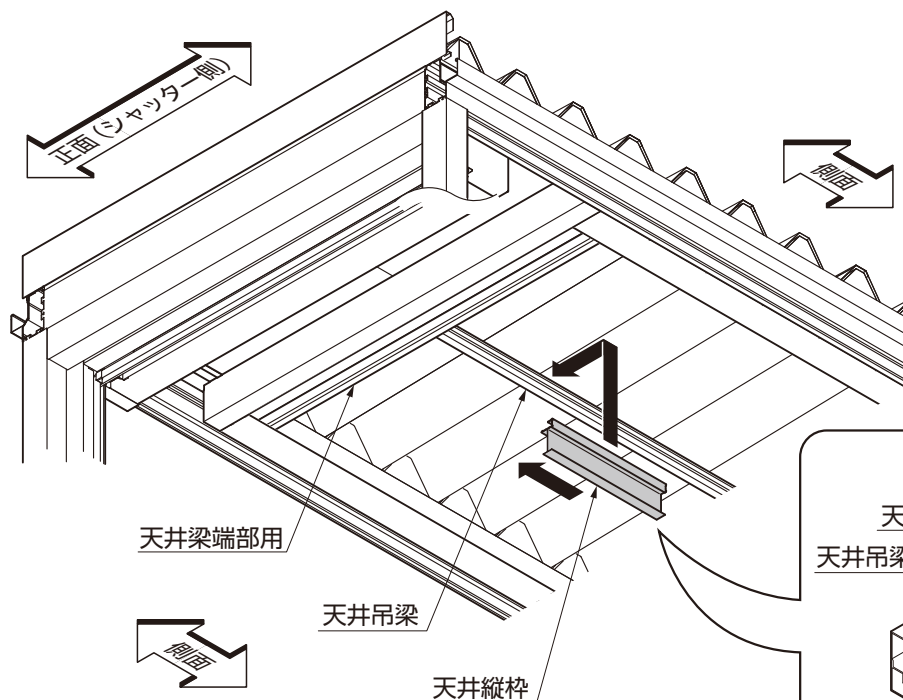


図6-27 天井縦枠の取付け

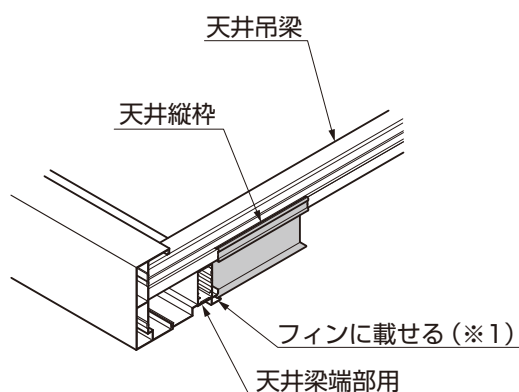


図6-28 天井縦枠の納まり
(1スパン目)

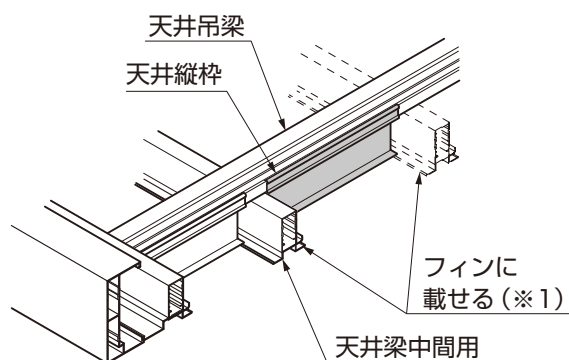


図6-29 天井縦枠の納まり
(2スパン目以降)

- ①天井縦枠を天井吊梁にはめ込んでください。(図6-27、図6-28、図6-29参照)

ポイント

- 天井縦枠を天井吊梁に差込む際、はめづらい場合は片側の端を差込んでから押し込むと入れやすくなります。(図6-27参照)
- 天井縦枠は、必ず天井梁端部用または天井梁中間用のフィン(※1)に載せてください。天井にすき間が生じる可能性があります。(図6-28、図6-29参照)

6. (つづき)

6-9 天井梁中間用の仮置き

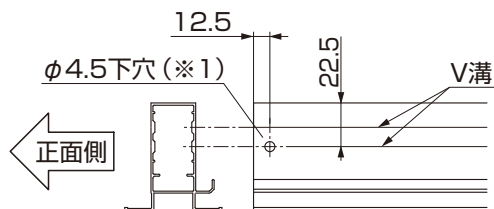


図6-30

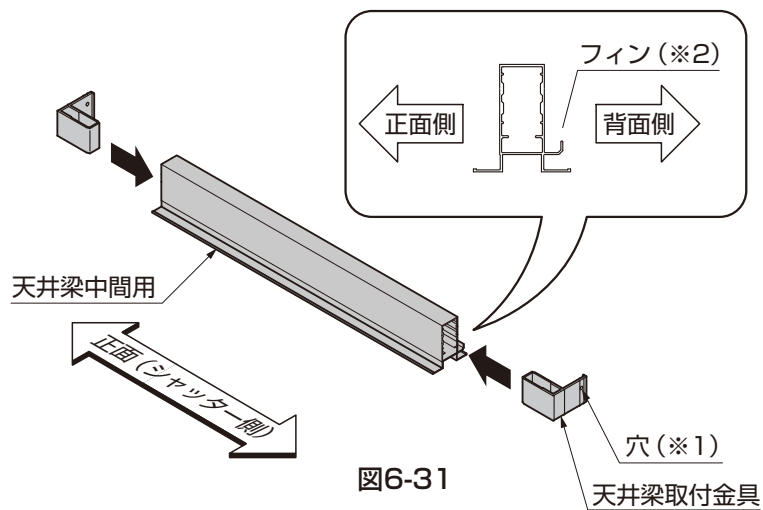


図6-31

- ①天井梁中間用の両端部の背面側にφ4.5の下穴をあけてください。(図6-30参照)
- ②天井梁端部用と天井梁中間用の両端に、天井梁取付金具を差込んでください。(図6-31参照)

ポイント

- 天井梁取付金具には向きがあります。天井梁取付金具は穴の開いている側(※1)が上になるように差込んでください。
- 天井梁中間用は、フィン(※2)のある側が背面側になります。

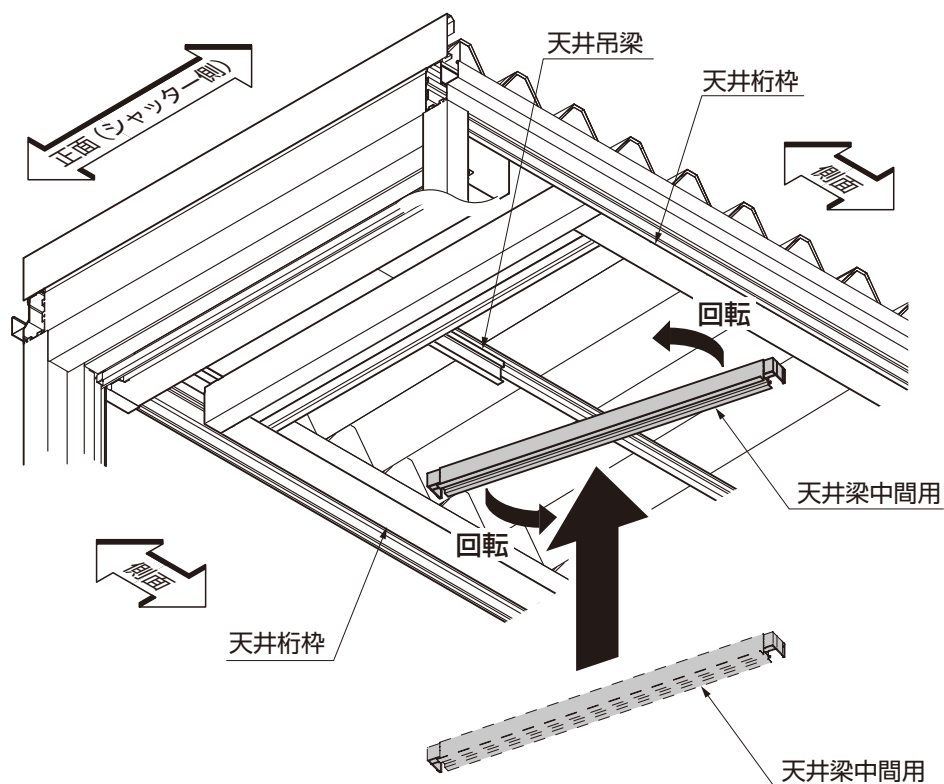


図6-32

- ③天井梁中間用を天井桁枠の上に置いてください。

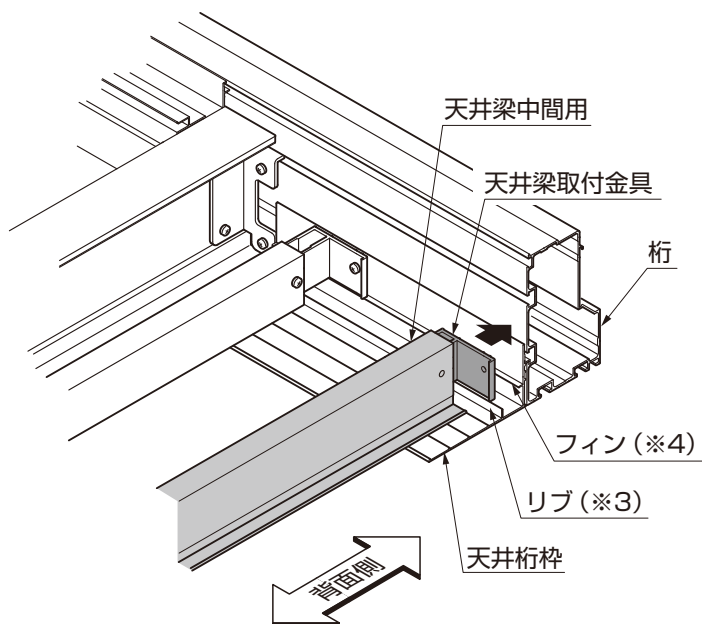


図6-33 天井梁取付金具と天井桁枠の取り付け

ポイント

- 天井梁中間用を天井桁枠の上に乗せる際は、必ずリブ (※3) の上に乗り上げないようにしてください。(図6-33参照)

- ④天井梁中間用から天井梁取付金具を引っ張りだして、天井桁枠に突き当ててください。(図6-33、図6-34参照)

ポイント

- 天井梁取付金具を、天井桁枠に突き当てる際、必ずフィン (※4) の上に乗るようにしてください。(図6-34参照)

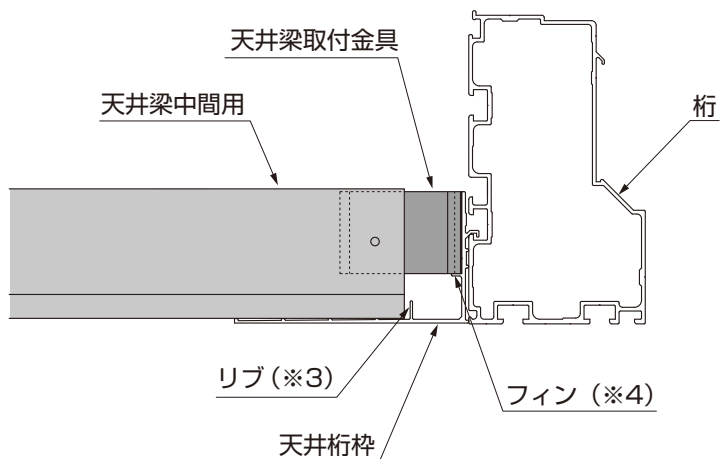


図6-34 天井梁中間用の納まり

6. (つづき)

6-10 天井面材の取付け

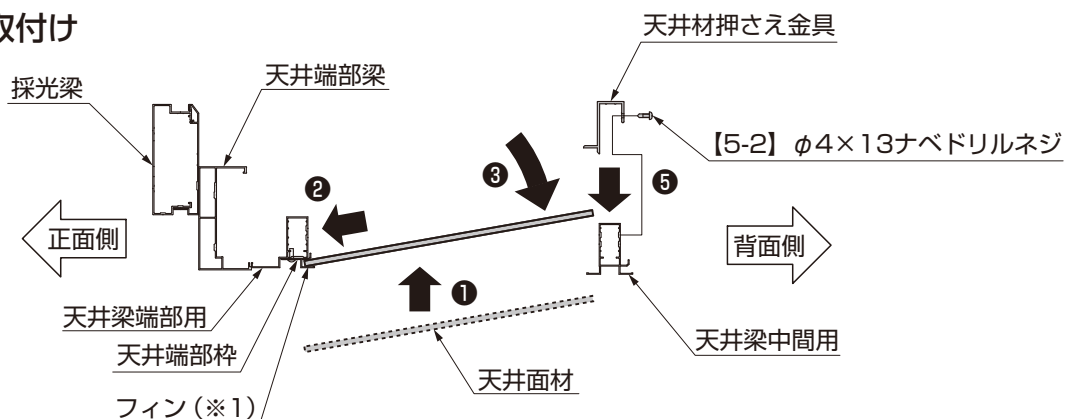


図6-35 天井面材のはめ込み方法（奥行き方向）（1スパン目）

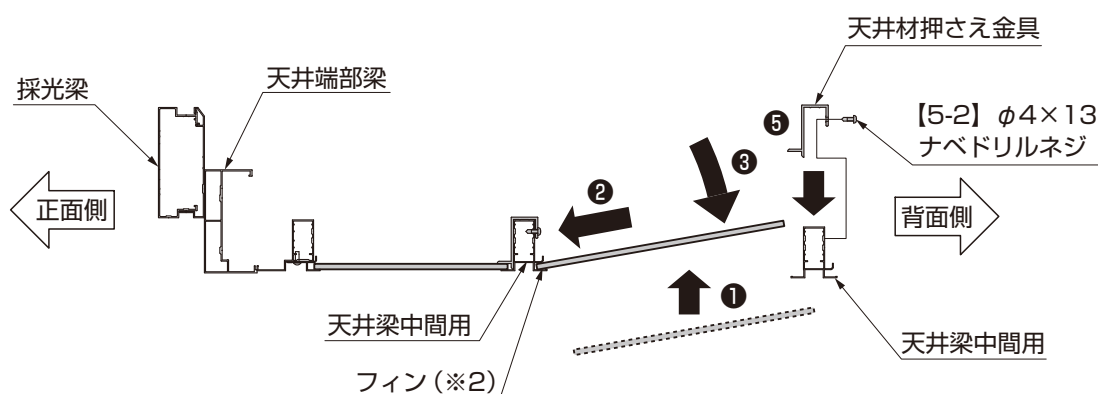


図6-36 天井面材のはめ込み方法（奥行き方向）（2スパン目以降）

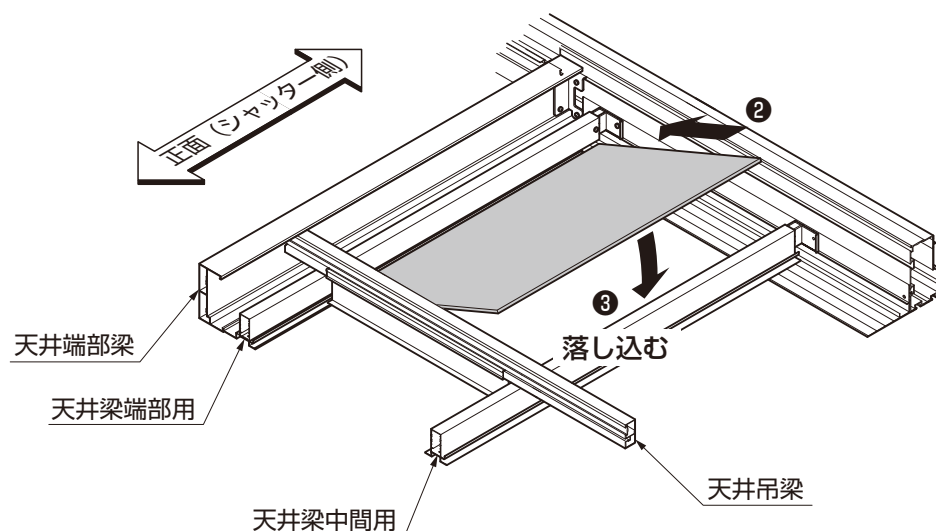


図6-37 天井面材のはめ込み方法（落とし込み）

- ①天井面材を天井梁端部用に取付けた天井端部枠のフィン（※1）または天井梁中間用のフィン（※2）に差込んだ後、落とし込んでください。（図6-35、図6-36、図6-37参照）

ポイント

- 天井面材の取付けは、正面側から順番に取付けてください。

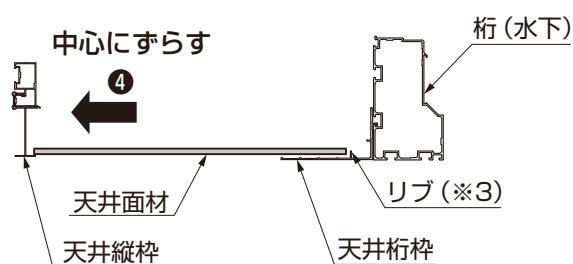


図6-38 天井面材のはめ込み方法
(間口方向)

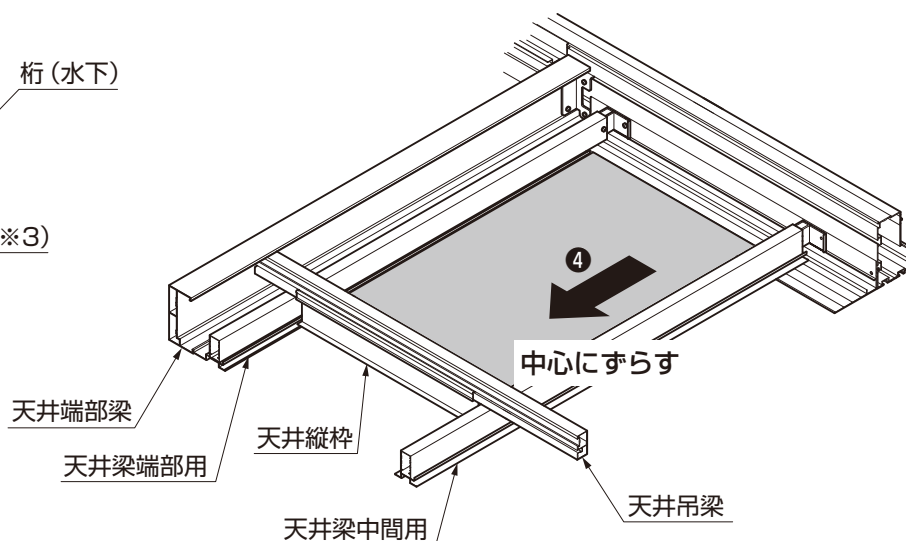


図6-39 天井面材のはめ込み方法 (中心合わせ)

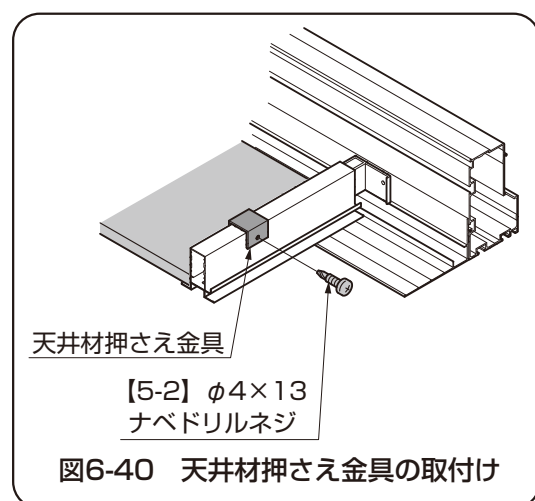


図6-40 天井材押さえ金具の取付け

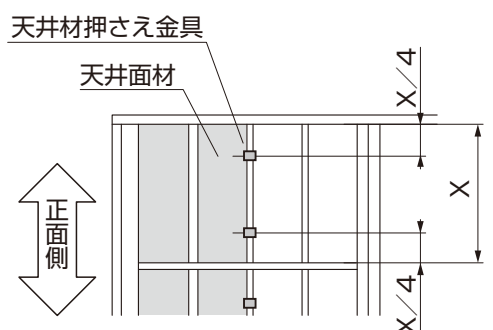
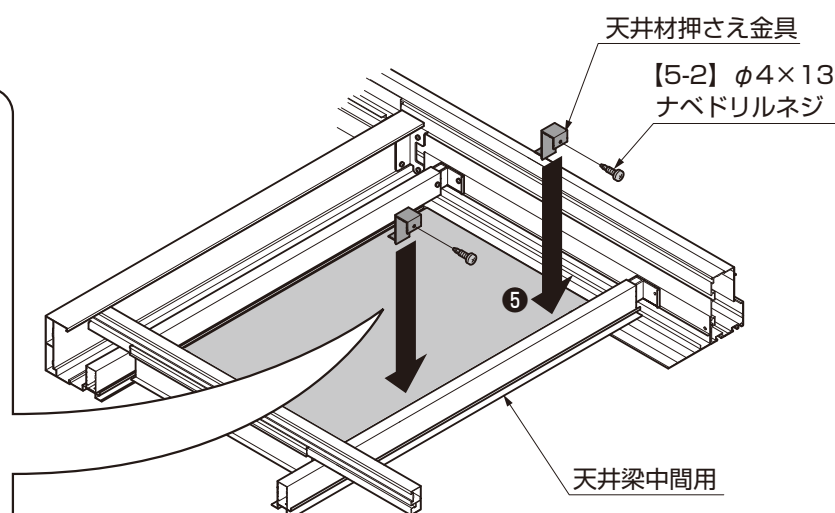


図6-41 天井材押さえ金具の取付け位置

- ②天井面材を天井桁枠のリブ (※3) の上に乗らないように、天井縦枠側にずらしてください。(図6-38、図6-39参照)
 ③天井材押さえ金具を天井梁中間用に、上から【5-2】で取付けて、天井面材を押さえ付けてください。(図6-40参照)

ポイント

- 天井材押さえ金具は、天井面材の1/4の寸法に取付けてください。(図6-41参照)

6. (つづき)

6-11 天井梁中間用の取付け

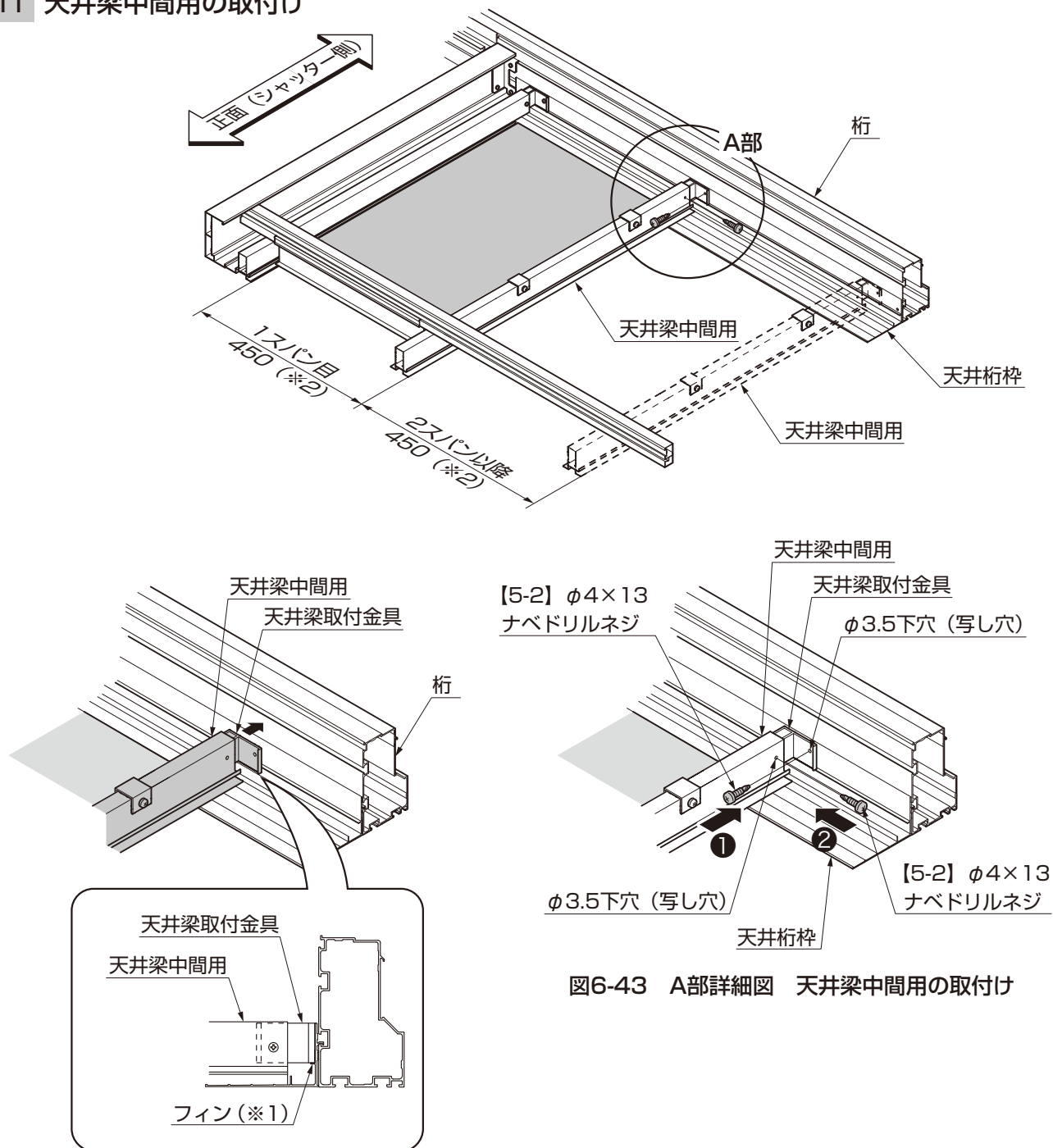


図6-43 A部詳細図 天井梁中間用の取付け

図6-42 天井梁中間の納まり

①天井梁取付金具を天井梁中間用から、引っ張りだして、天井桁に突き当ててください。

ポイント

- 天井梁取付金具を天井桁に突き当てる際、必ずフィン (※1) の上に載るようにしてください。
- 天井梁用のピッチを確認の上取付けてください。
- 天井梁中間用ピッチ (※2) は「3. 基本寸法と加工寸法」を参照してください。

②天井梁取付金具を、天井桁にφ3.5の下穴 (写し穴) をあけて、【5-2】で取付けて下さい。(図6-43参照)

③天井梁取付金具を、天井梁中間用にφ3.5の下穴 (写し穴) をあけて、【5-2】で取付けて下さい。(図6-43参照)

6-12 天井梁連結金具の取付け

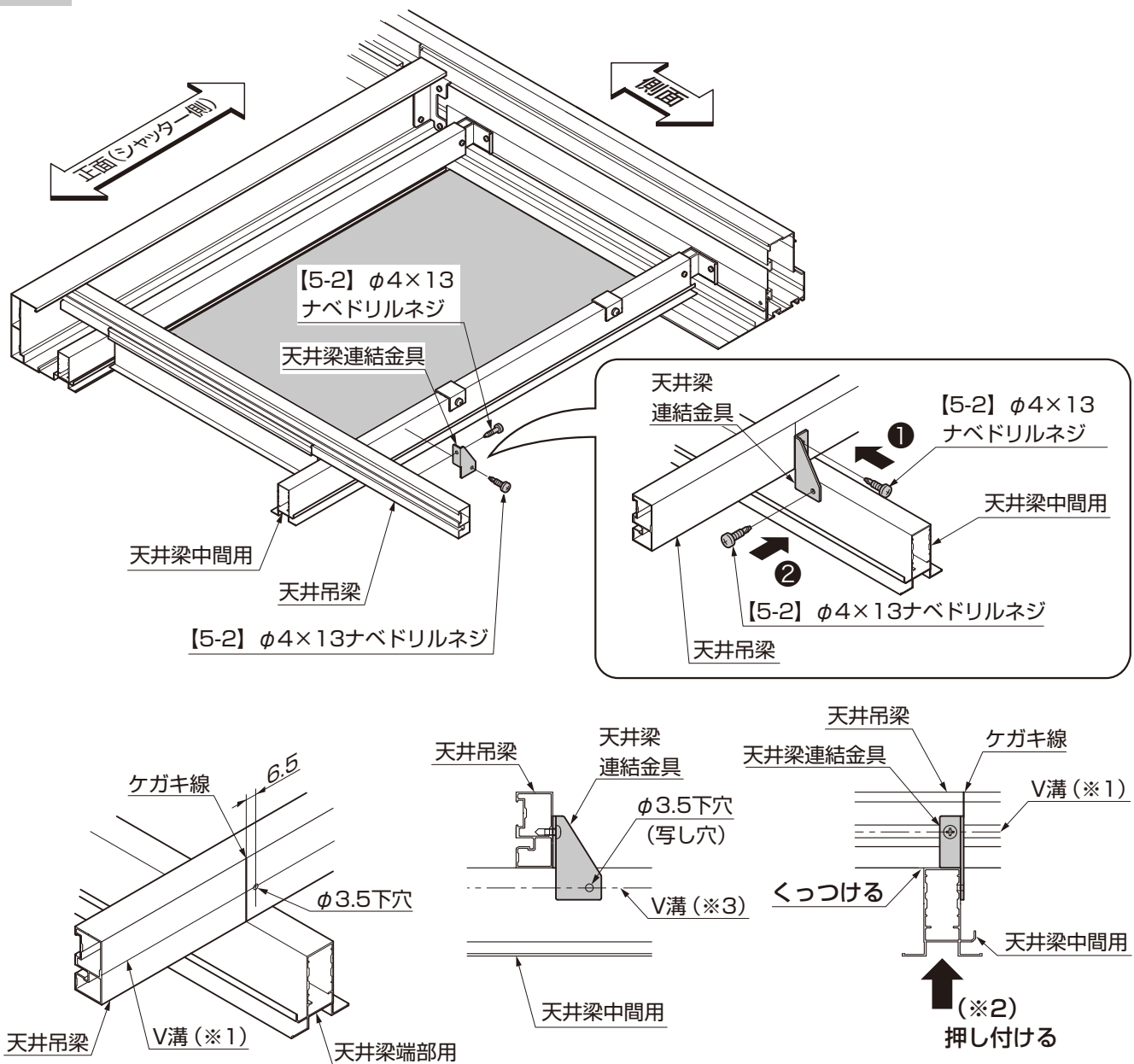


図6-45 天井吊梁の下穴あけ

図6-46 天井梁の金具取付け位置

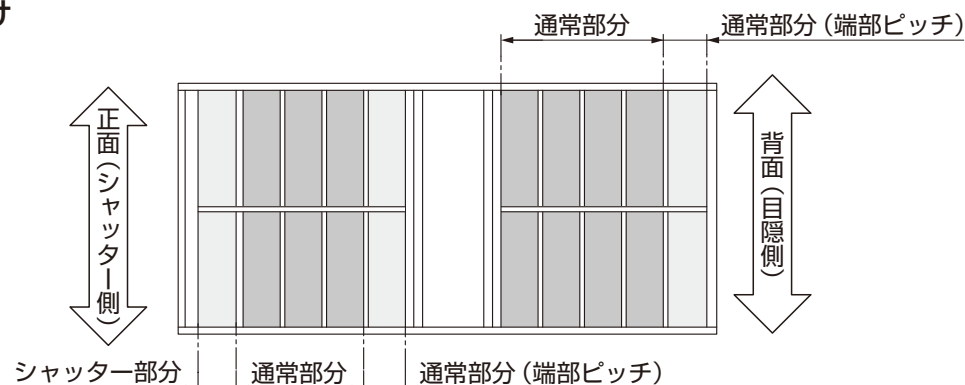
- ①天井梁連結金具を取付ける位置を確認して、天井吊梁の天井梁連結金具を取付ける位置のV溝(※1)にφ3.5の下穴をあけてください。(図5-43参照)
- ②天井梁連結金具を、天井吊梁に【5-2】で取付けてください。

ポイント

- 天井梁連結金具は、「2.基本寸法と加工寸法」に記載されている取付け個所を確認して、取付けてください。
 - 天井梁端部用または天井梁中間用から、真っすぐ上がった天井吊梁に、ケガキ線を入れると、位置決めがしやすくなります。(図5-43参照)
- ③天井梁端部用または天井梁中間用を、天井吊梁に押し付けて(※2)、天井梁連結金具の穴からV溝(※3)にφ3.5の下穴(写し穴)をあけてください。
 - ④天井梁連結金具を、天井梁端部用または天井梁中間用に【5-2】で取付けてください。

2. (つづき)

6-13 天井の取付け



ポイント

- 「6-7 天井縦枠の取付け」から「6-12 天井梁連結金具の取付け」を繰り返し行ない、通常部分の天井を施工してください。
- 通常部分 (端部ピッチ) の天井は、「7. 天井面材 通常部分 (端部ピッチ) の取付け」を参照して施工してください。

7. 天井面材 通常部分 (端部ピッチ) の取付け

ポイント

- 通常部分 (端部ピッチ) の寸法は参考寸法です。実際は現場寸法に合わせて切断してください。

表7-1 スタイルコートの場合

サイズ 呼称	採光部前 参考					採光部後 参考				
	端部天井梁 内々寸法	天井面材 奥行方向	天井梁 端部ピッチ	天井縦枠 部材寸法	端部 ピッチ数	端部天井梁 内々寸法	天井面材 奥行方向	天井梁 端部ピッチ	天井縦枠 部材寸法	端部 ピッチ数
	X	X+8.5	X+36.5	X-5.5	n	X	X+8.5	X+36.5	X-5.5	n
L54	241.5	250	278	236	2	366	374.5	402.5	360.5	1
L60	219.5	228	256	214	1	366	374.5	402.5	360.5	1
L74	266.5	275	303	261	2	240	248.5	276.5	234.5	2

表7-2 スタイルコートLの場合

※1500タイプの全タイプ、3000タイプ標準28-54・32-60、縦延長32-74の場合

サイズ 呼称	採光部前 参考					採光部後 参考				
	端部天井梁 内々寸法	天井面材 奥行方向	天井梁 端部ピッチ	天井縦枠 部材寸法	端部 ピッチ数	端部天井梁 内々寸法	天井面材 奥行方向	天井梁 端部ピッチ	天井縦枠 部材寸法	端部 ピッチ数
	X	X+8.5	X+36.5	X-5.5	n	X	X+8.5	X+36.5	X-5.5	n
L54	238.5	247	275	233	2	263.5	272	300	258	2
L60	238.5	247	275	233	2	263.5	272	300	258	1
L74	413.5	420	450	408	1	413.5	420	450	408	1

表7-3 スタイルコートLの場合

※3000タイプ標準34-60・38-60の場合

サイズ 呼称	通常部分 (正面側から1~4スパン目) 参考				通常部分 (背面側から1スパン目) 参考			
	天井端部梁	天井面材 奥行方向	天井梁 端部ピッチ	天井縦枠 部材寸法	天井端部梁	天井面材 奥行方向	天井梁 端部ピッチ	天井縦枠 部材寸法
	X	X+8.5	X+36.5	X-5.5	X	X+8.5	X+36.5	X-5.5
L60	388.5	397	425	383	301	309.5	337.5	295.5

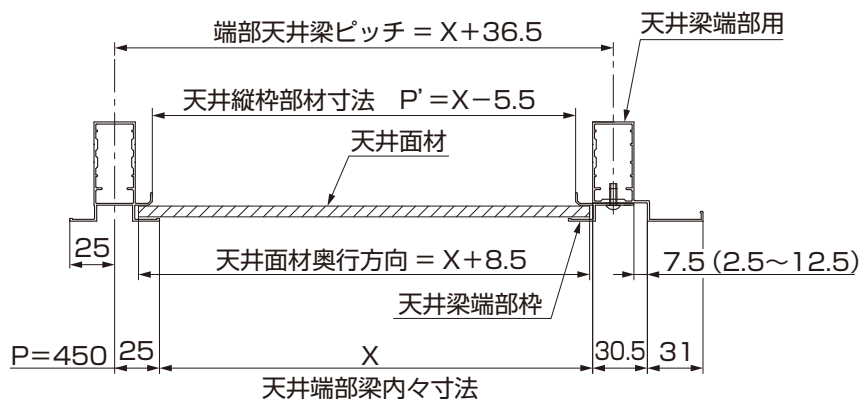


図7-1

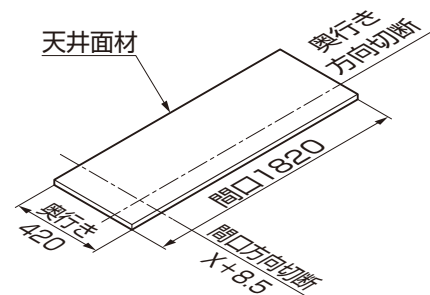


図7-2 天井面材の加工

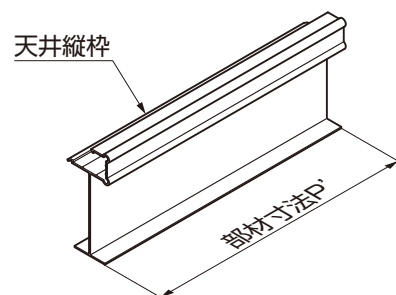


図7-3 天井面材の加工

- ①現場の端部天井内々寸法を確認してください。(図7-1参照)
- ②天井面材の奥行き方向寸法と、天井縦枠の部材寸法を割り出し、部材を切断してください。

7-2 端部ピッチの天井の取付け

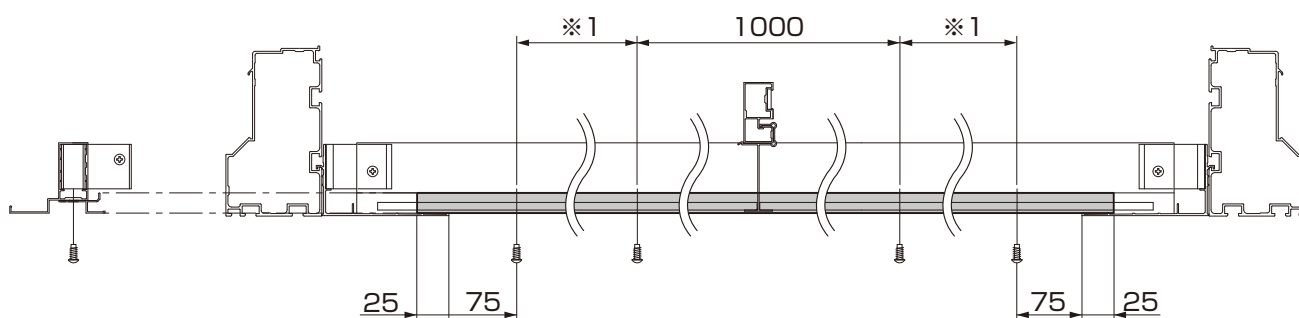


図7-4 天井端部枠の納まり

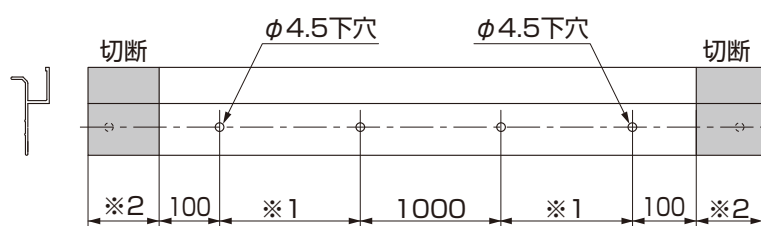


図7-5 天井端部枠の加工

図7-4 天井端部枠加工寸法

サイズ呼称	※1	※2
W28	625	500
W32	825	300
W63		
W34	925	200
W38	1125	0 (切断なし)

- ①天井端部枠の両端を均等に切断して、φ4.5の下穴をあけてください。
- (2. 基本寸法と加工寸法、図7-4、図7-5、表5-1参照)

7. (つづき)

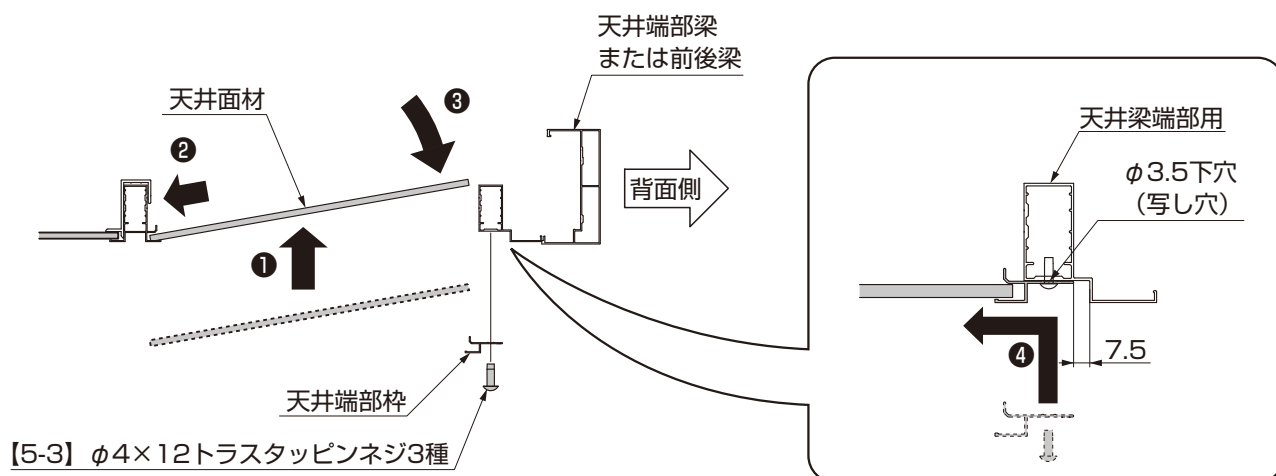


図7-6 天井面材のはめ込み方法 (奥行き方向) 〈背面側〉

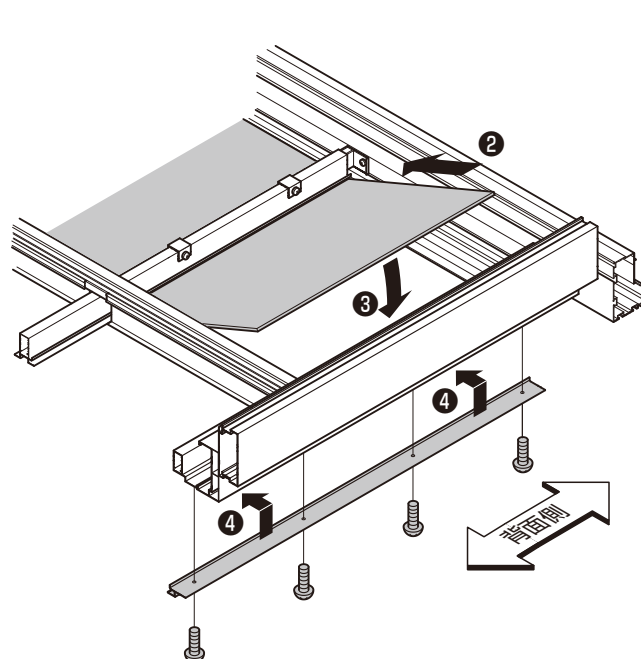


図7-7 天井面材のはめ込み方法 (落とし込み)

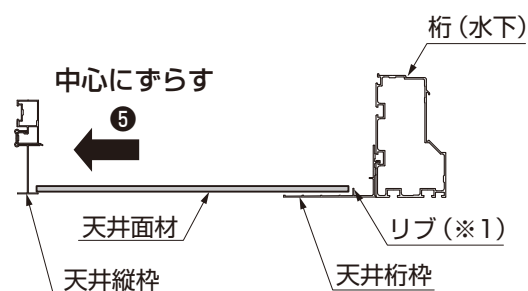


図7-8 天井面材のはめ込み方法 (間口方向)

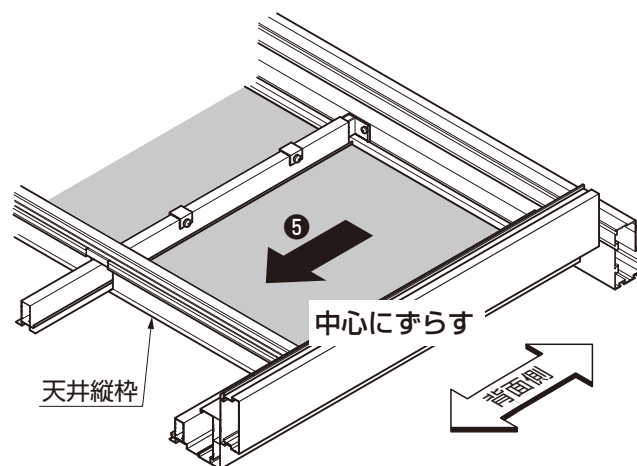


図7-9 天井面材のはめ込み方法 (中心合わせ)

- ②天井梁端部用にφ3.5の下穴（写し穴）をあけてください。（図7-6参照）
- ③天井面材を中間天井梁中間用にはめ込んでください。（図7-6、図7-7参照）
- ④天井端部枠を天井梁端部用に【3-5】で天井面材が落ちないように正面側にずらしながら取付けてください。（図7-6、図7-7参照）
- ⑤天井面材を天井桁枠のリブ（※1）の上に乗らないように、天井縦枠側にずらしてください。（図7-8、図7-9参照）

取説コード

D467

JZZ617696G
200903A_1039
202110H_1048